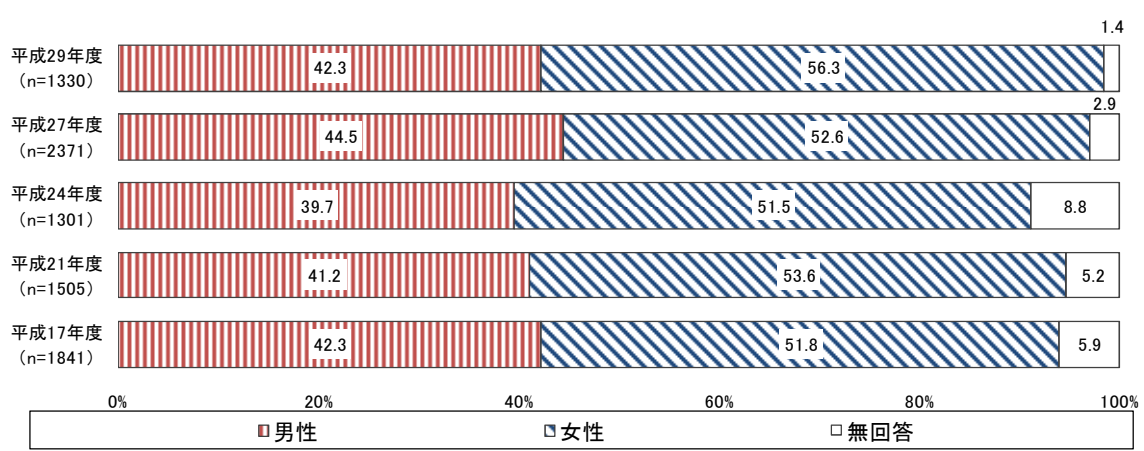


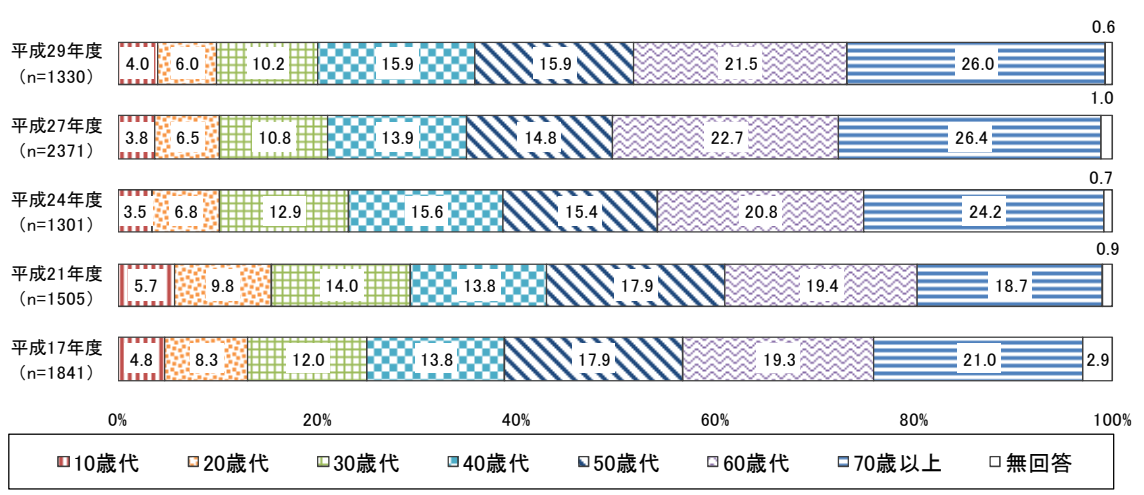
## Ⅲ 調査結果

問1 あなた自身に該当するものをそれぞれ1つずつ選び、○をつけてください。

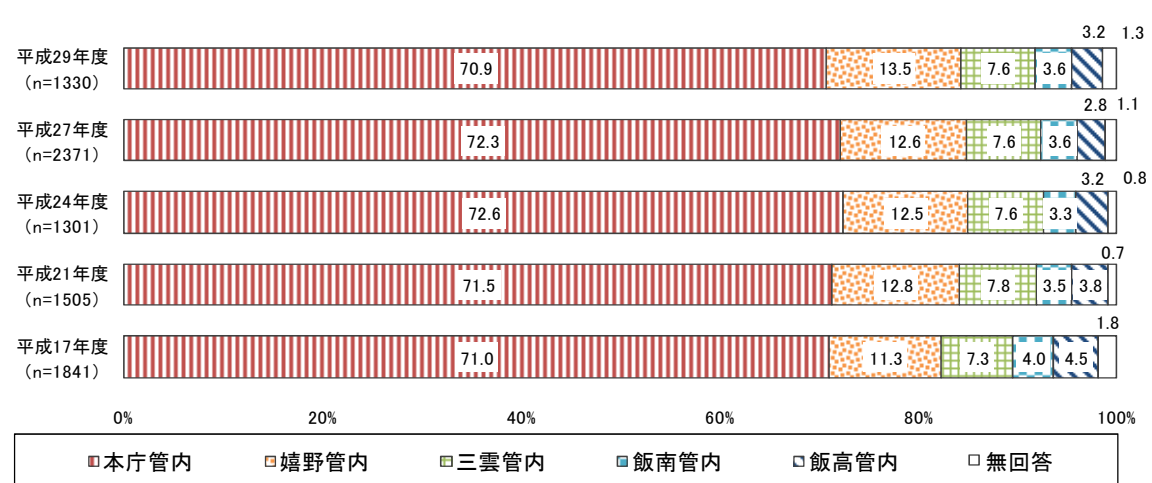
(1) 性別



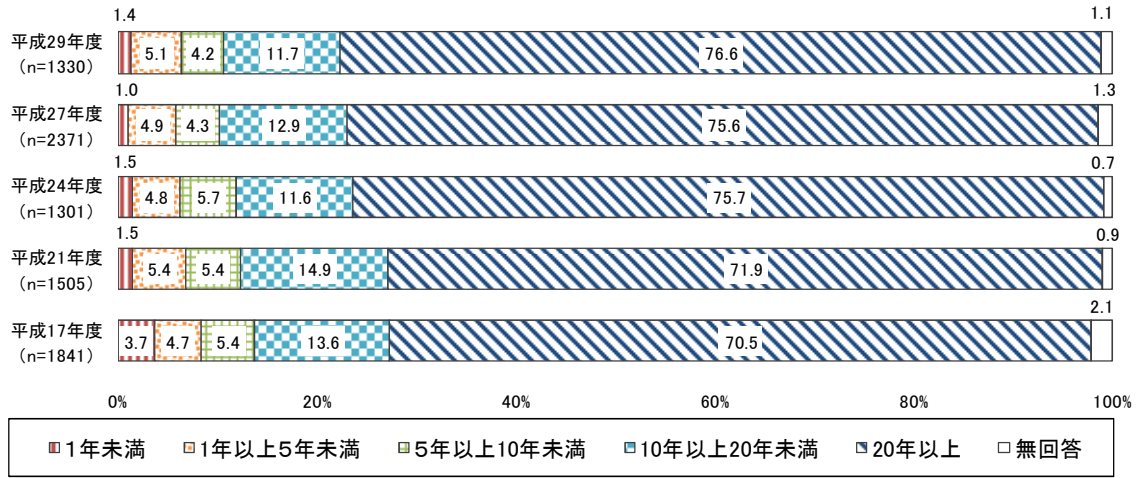
(2) 年齢



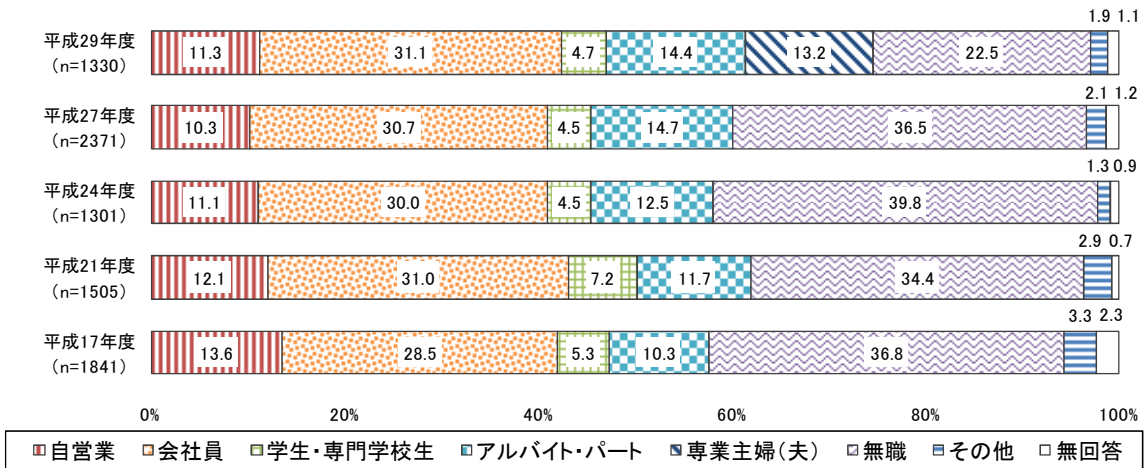
(3) 居住地



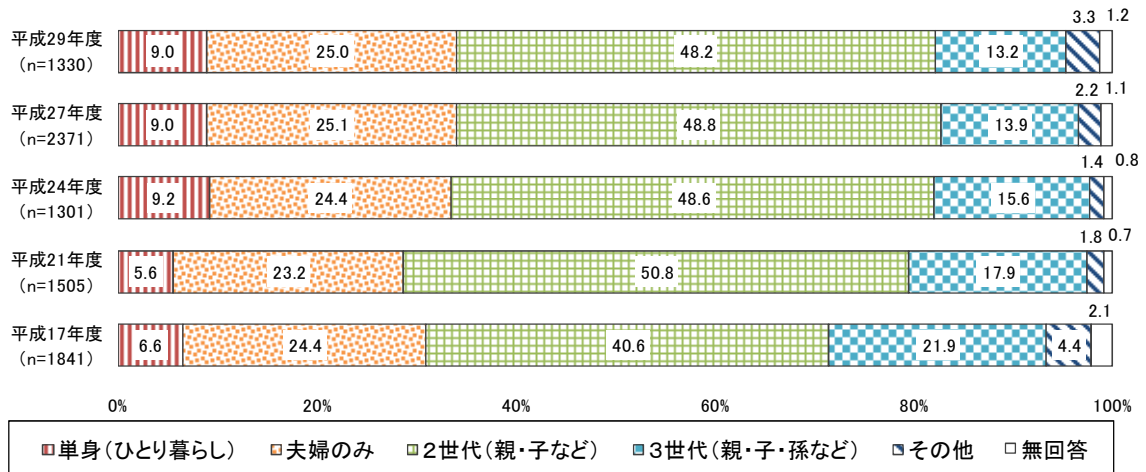
#### (4) 居住年数



#### (5) 職業



#### (6) 家族構成



問2 あなたの現在の状況についておうかがいします。

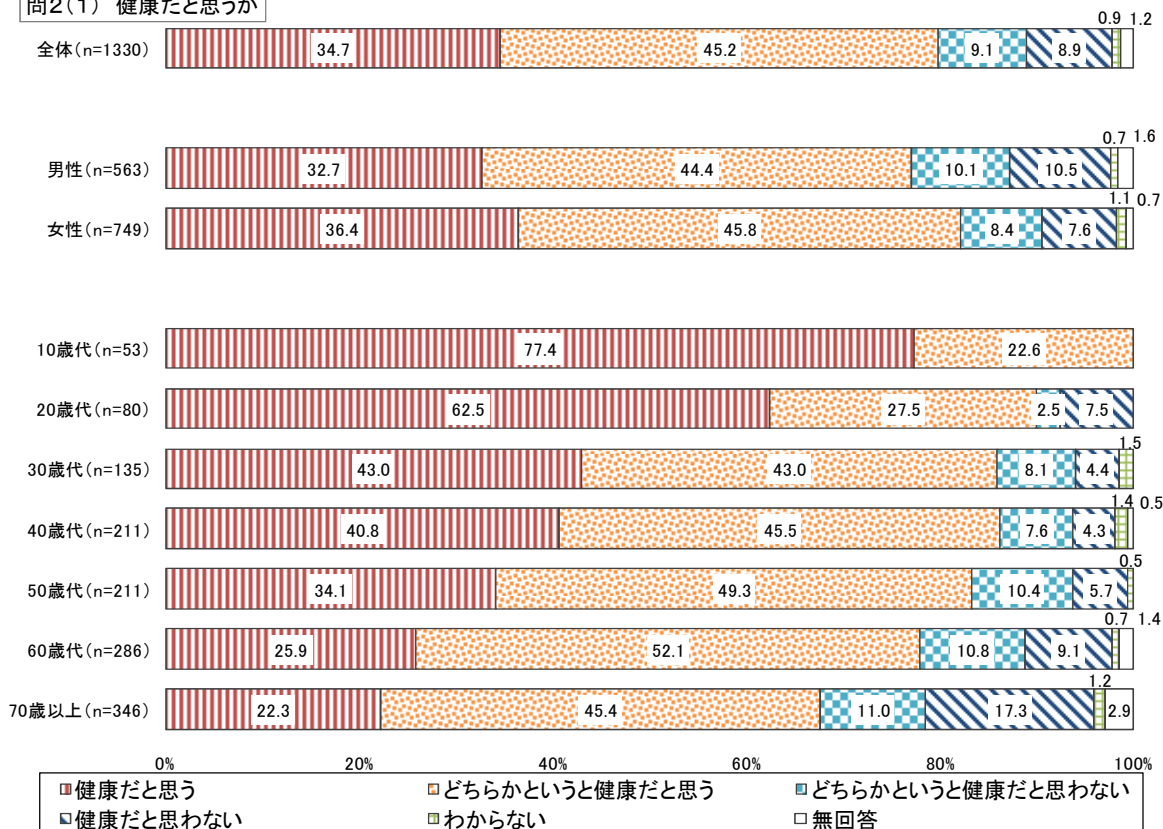
(1) 健康だと思えますか。(〇は1つだけ)

「どちらかという健康だと思える」が45.2%と最も高く、ついで「健康だと思える」が34.7%、「どちらかという健康だと思わない」が9.1%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「どちらかという健康だと思える」が最も高くなっており、男性44.4%、女性45.8%となっている。

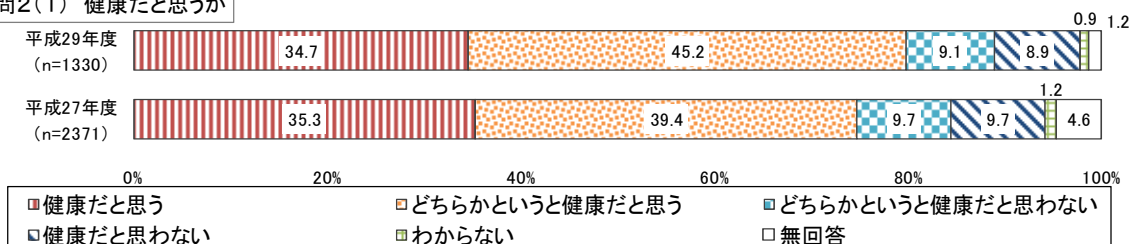
年代別にみると、「健康だと思える」が年代が上がるにつれて減少している一方で、「どちらかという健康だと思わない」「健康だと思わない」が増加している。

問2(1) 健康だと思えるか



前回と比較すると、「健康だと思える」「どちらかという健康だと思える」を合計した割合が79.9%で前回よりも5ポイント程度増加している。

問2(1) 健康だと思えるか

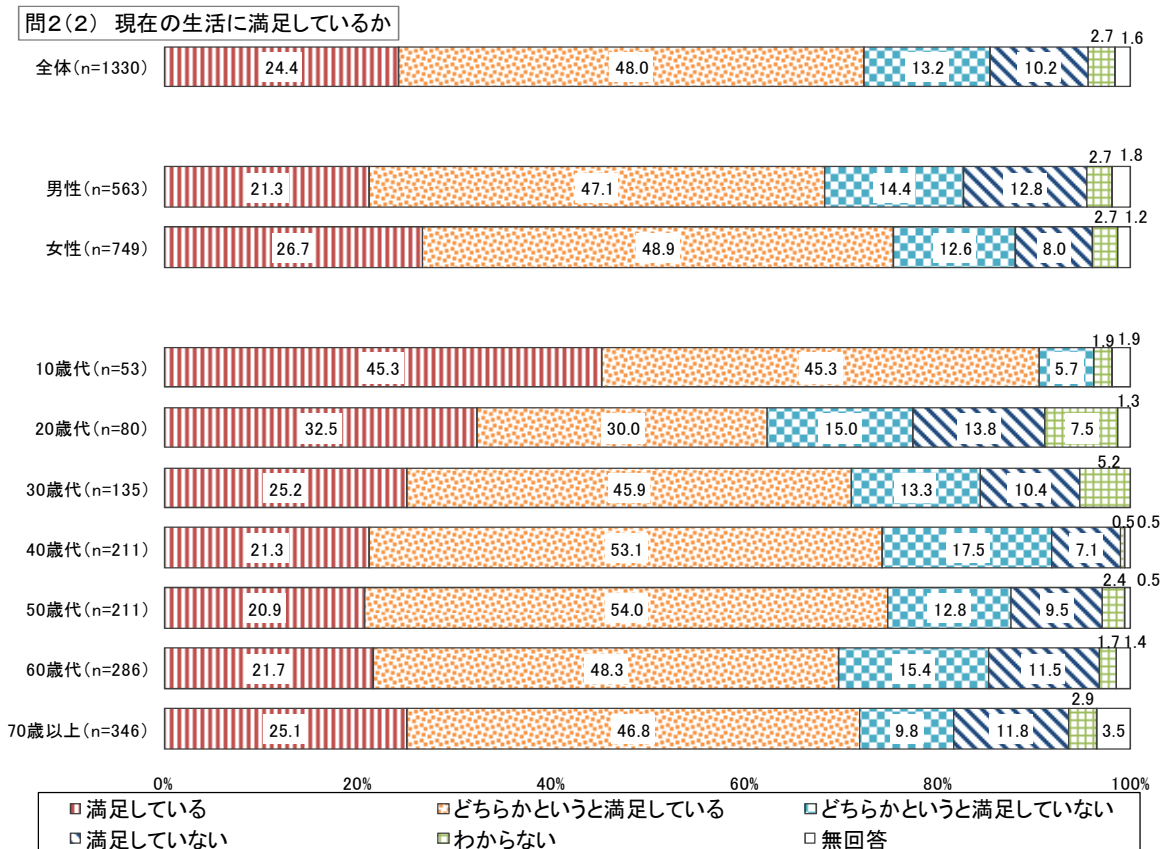


(2) 現在の生活に満足していますか。(〇は1つだけ)

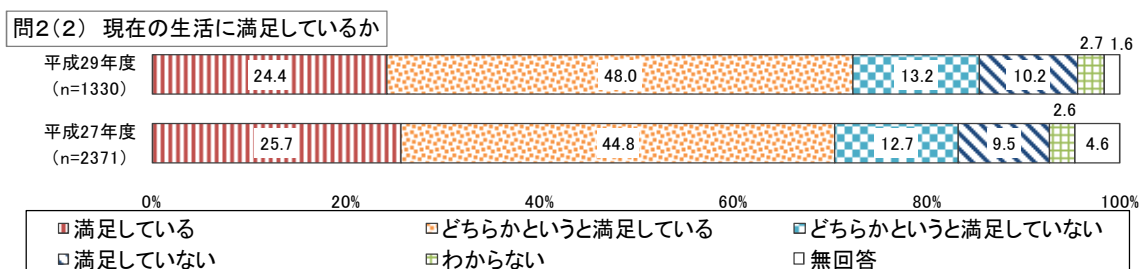
「どちらかという満足している」が48.0%と最も高く、ついで「満足している」が24.4%、「どちらかという満足していない」が13.2%となっている。

性別にみると、女性の方が男性よりも「満足している」「どちらかという満足している」の割合が高くなっている。

年代別では、10歳代の「満足している」の割合が高く、他の世代よりも10ポイント以上高くなっている。しかし、20歳代になると「どちらかという満足していない」「満足していない」の合計の割合が年代別で最も高くなっている。



前回と比較すると、概ね同様の傾向を示しているが、「どちらかという満足している」がやや増加して48.0%となっている。

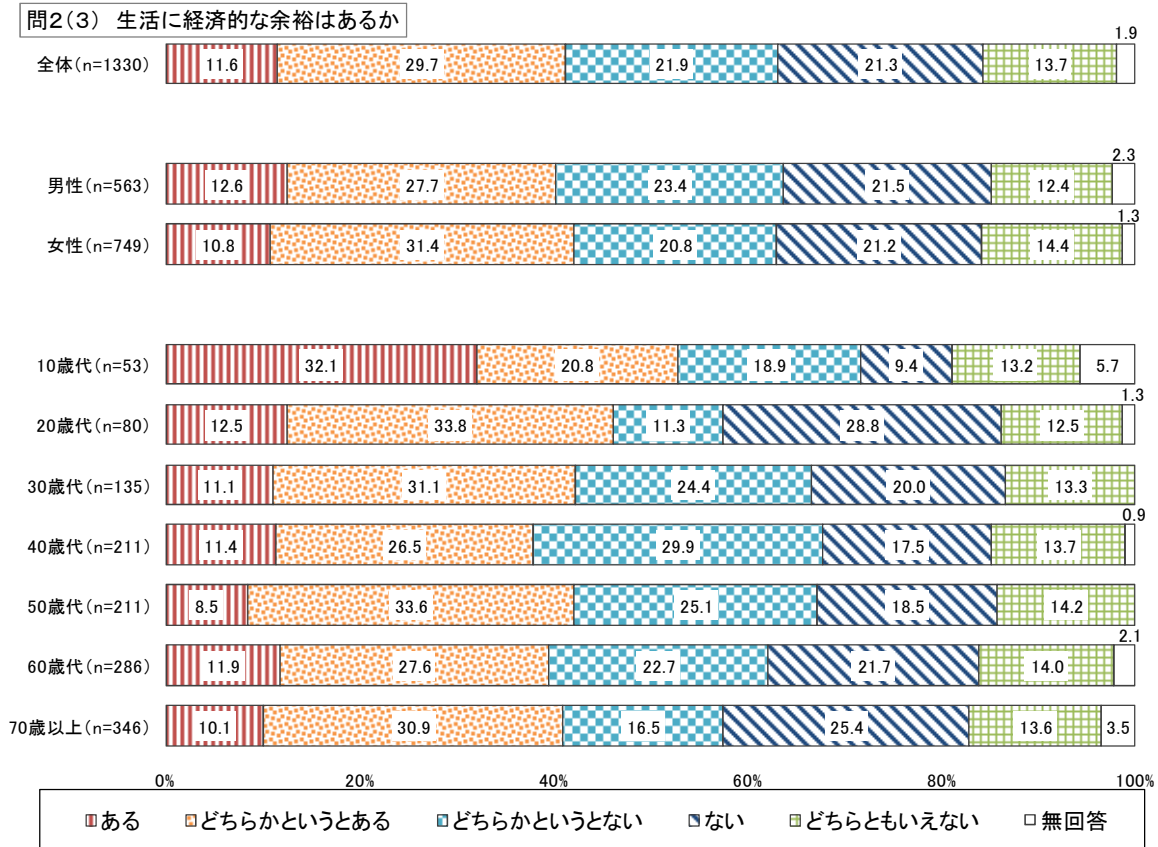


(3) 生活に経済的な余裕はありますか。(〇は1つだけ)

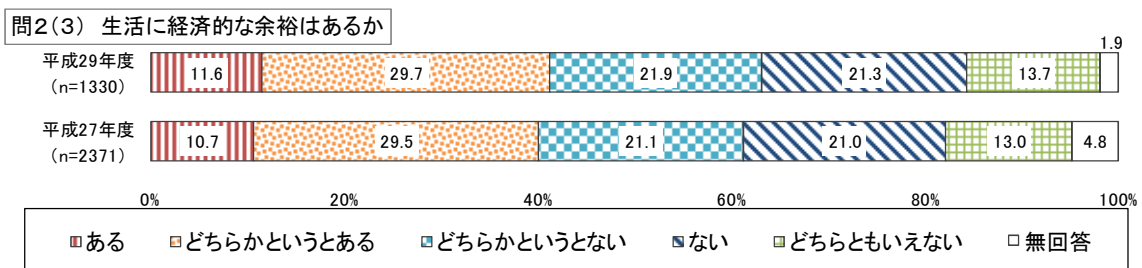
「どちらかというところある」が29.7%と最も高く、ついで「どちらかというところない」が21.9%、「ない」が21.3%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに概ね同様の傾向を示しているが、「どちらかというところない」の割合が男性でやや高くなっている。

10歳代では「ある」「どちらかというところある」の合計の割合が、年代別で最も高く、5割を超えているが、その割合は年代が上がるごとに徐々に減少していき、40歳代で最も低くなっている。



前回と比較すると、概ね同様の傾向を示しているが、「ある」の割合がわずかに増加している。



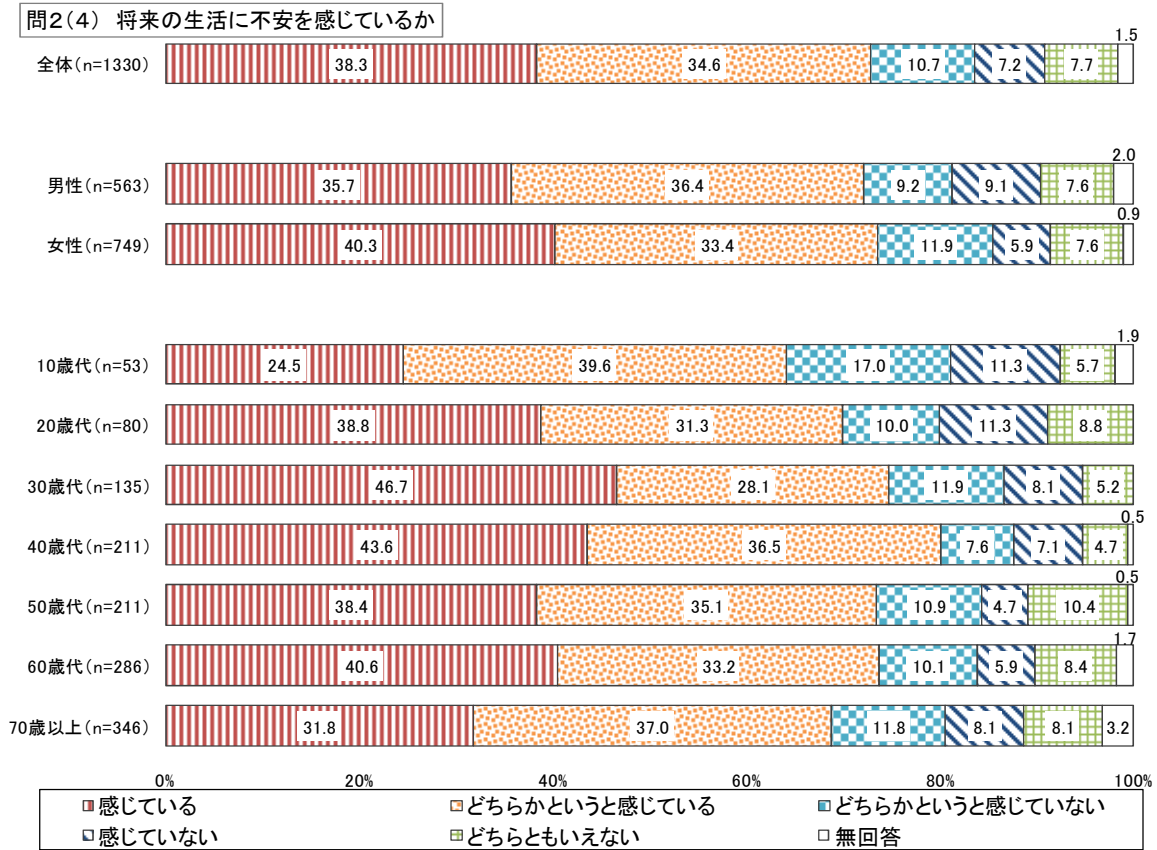


(4) 将来の生活に不安を感じていますか。(〇は1つだけ)

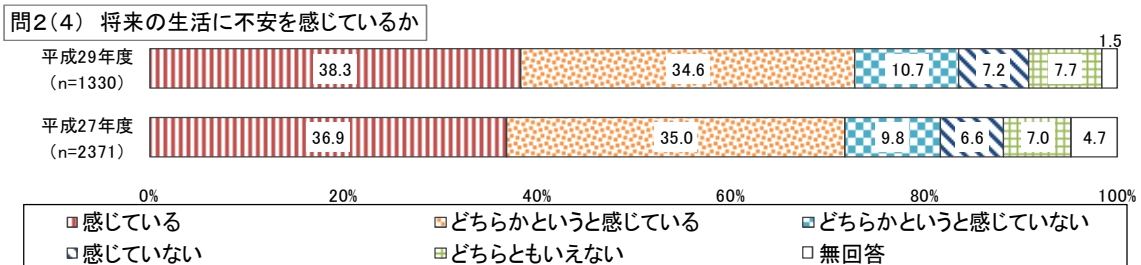
「感じている」が38.3%と最も高く、ついで「どちらかというと感じている」が34.6%、「どちらかというと感じていない」が10.7%となっている。

性別では、女性の方が男性よりも「感じている」の割合が高く、4割を超えている。

年代別では、10歳代では「感じている」「どちらかというと感じている」の合計の割合が64.1%と最も低く、40歳代では80.1%と最も高くなっている。



前回と比較すると、概ね同様の傾向を示しているが、「感じている」の割合がわずかに増加している。



問3 あなたの生きがいについておうかがいします。

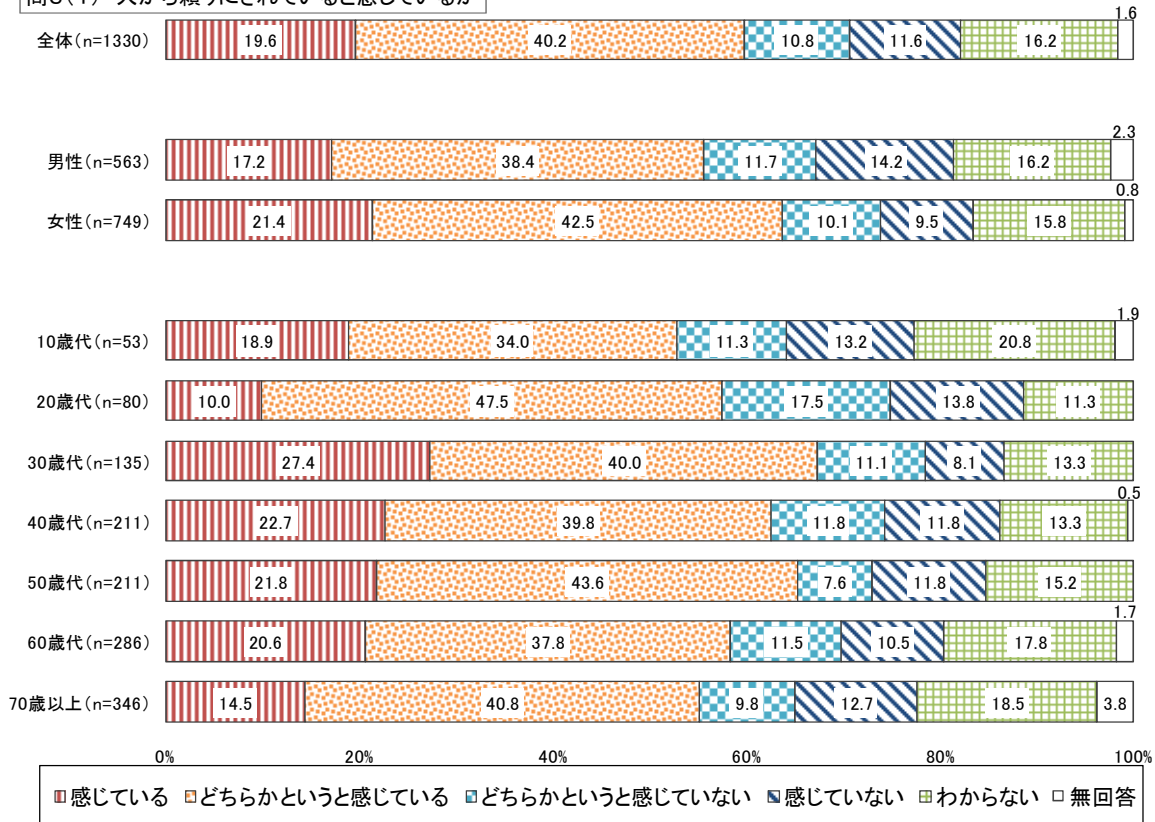
(1) 人から頼りにされていると感じていますか。(〇は1つだけ)

「どちらかというと感じている」が40.2%と最も高く、ついで「感じている」が19.6%、「わからない」が16.2%となっている。

性別では、女性の方が「感じている」「どちらかというと感じている」の合計の割合が男性よりも8ポイント程度高く、63.9%となっている。

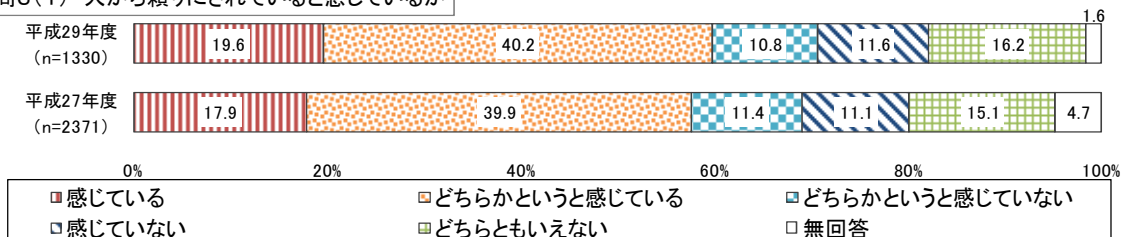
年代別では、30歳代で「感じている」「どちらかというと感じている」の合計の割合が最も高く、67.4%となっている。20歳代では「感じている」の割合が年代別で最も低く、10.0%となっている一方で、「どちらかというと感じていない」「感じていない」の合計の割合が31.3%と他の年代よりも高くなっている。

問3(1) 人から頼りにされていると感じているか



前回と比較すると、「感じている」「どちらかというと感じている」の合計の割合が、若干増加しているが、概ね同様の傾向を示している。

問3(1) 人から頼りにされていると感じているか



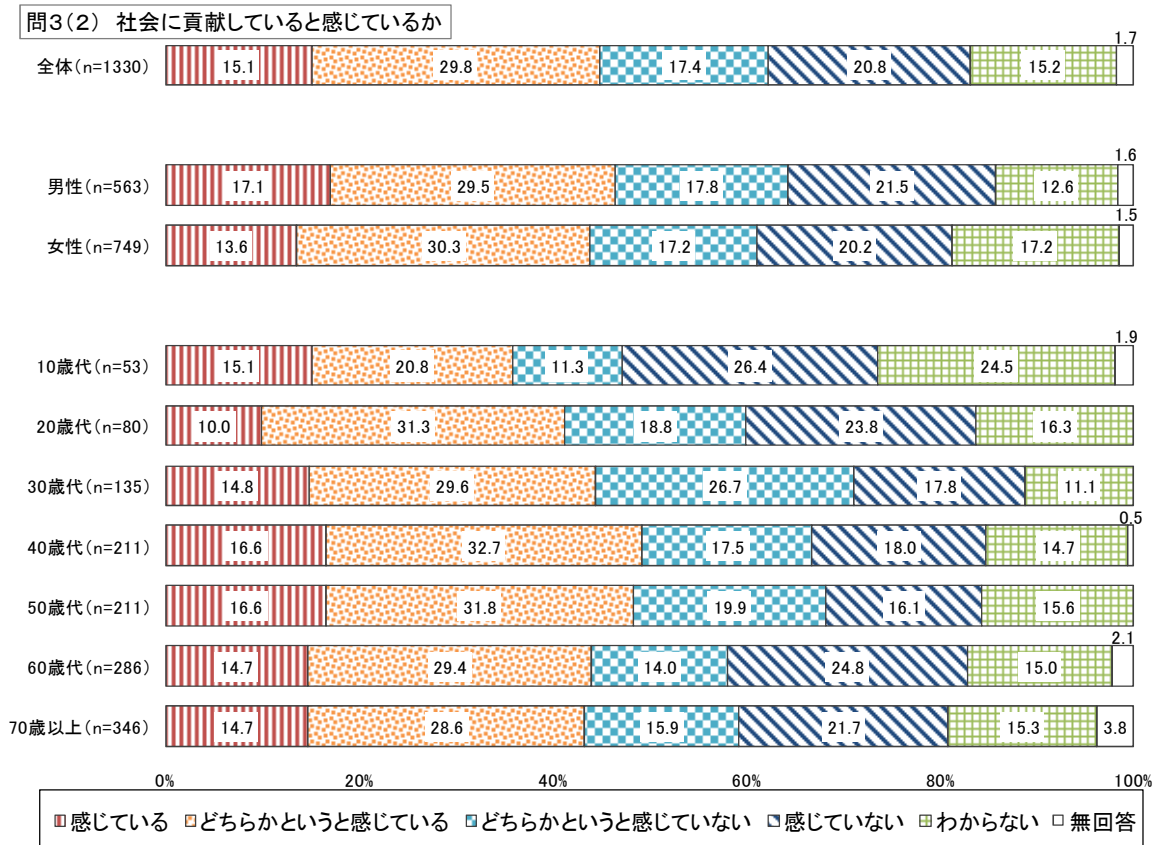


(2) 社会に貢献（他人のために何かを）していると感じていますか。（○は1つだけ）

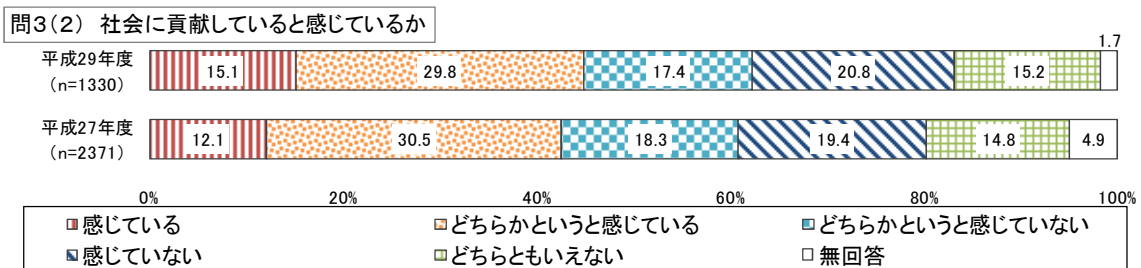
「どちらかというと感じている」が29.8%と最も高く、ついで「感じていない」が20.8%、「どちらかというと感じていない」が17.4%となっている。

性別では、男性で「感じている」が女性よりも高くなっている。また、女性は男性と比べ「わからない」が高くなっている。

年代別では、「感じている」「どちらかというと感じている」の合計の割合が10歳代から徐々に増加していき、40歳代で49.3%と最も高くなっており、その後減少している。



前回と比較すると、「感じている」の割合がやや増加しているが、概ね同様の傾向を示している。

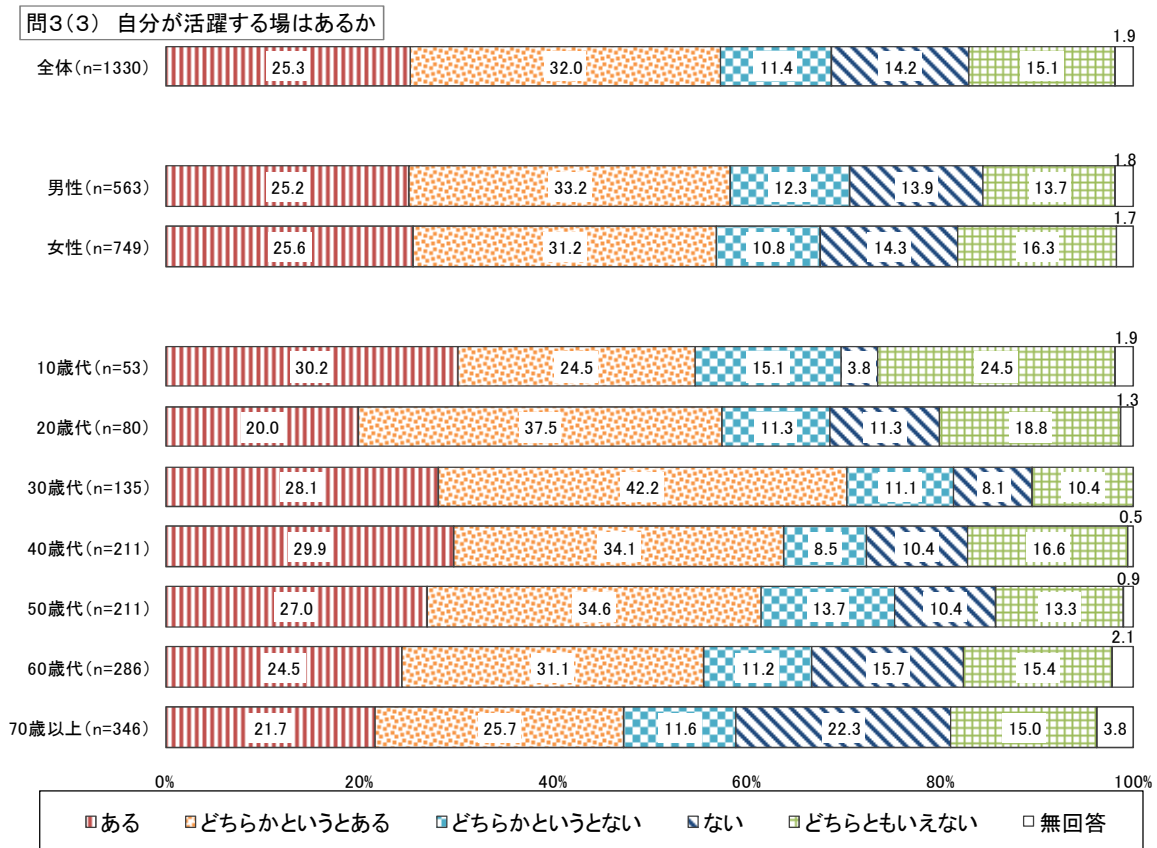


### (3) 自分が活躍する場はありますか。(〇は1つだけ)

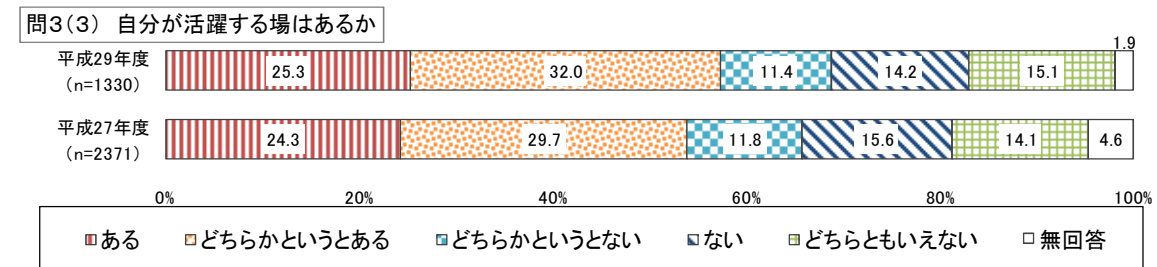
「どちらかというところがある」が32.0%と最も高く、ついで「ある」が25.3%、「どちらともいえない」が15.1%となっている。

性別では、「どちらともいえない」が女性でやや高くなっているが、その他は概ね同様の傾向を示している。

年代別では、30歳代では「ある」「どちらかというところがある」の合計の割合が、70.3%と他の年代よりも5ポイント以上高くなっている。また、50歳代以降「どちらかというところがない」「ない」の割合が年代が上がるごとに増加している。



前回と比較すると、「どちらかというところがない」「ない」の割合が減少し、「ある」「どちらかというところがある」の割合が増加している。

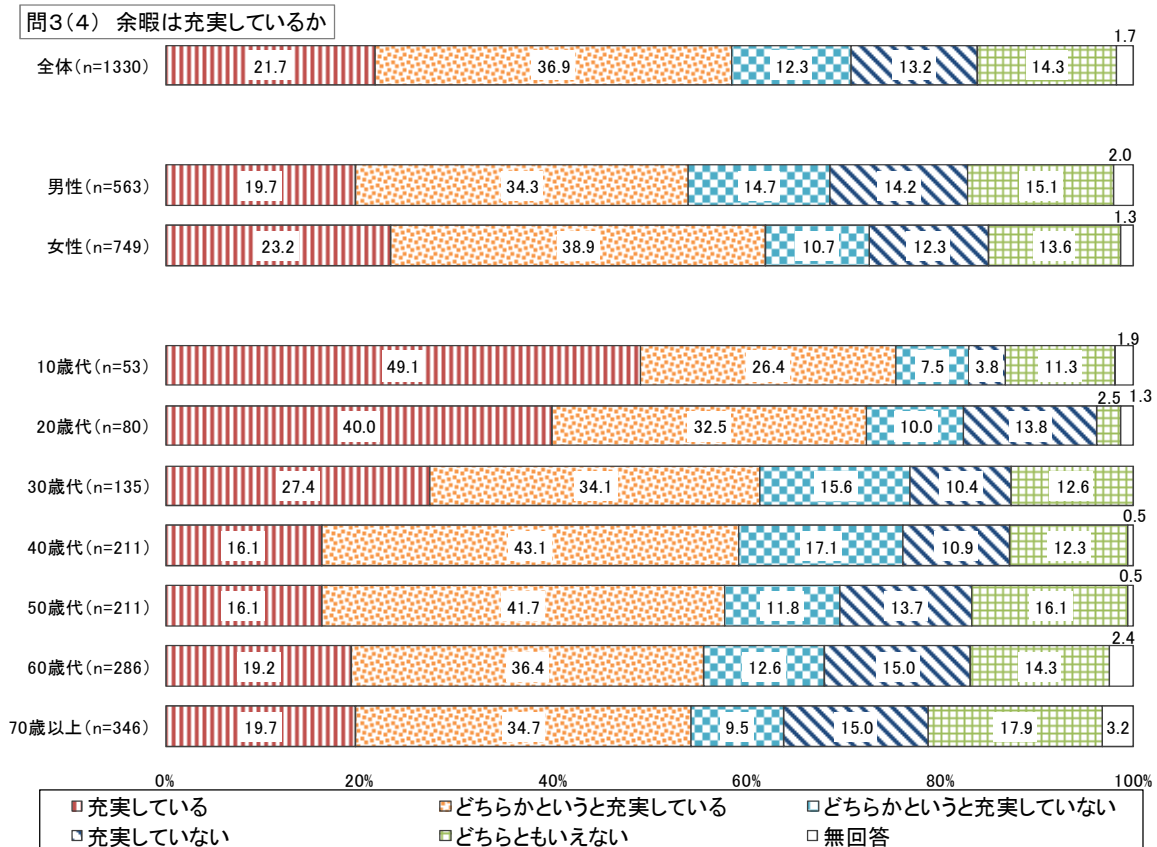


(4) 余暇は充実していますか。(〇は1つだけ)

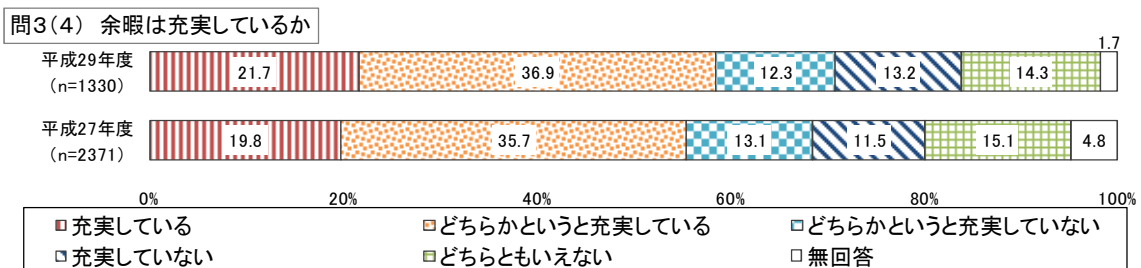
「どちらかという充実している」が36.9%と最も高く、ついで「充実している」が21.7%、「どちらともいえない」が14.3%となっている。

性別では、女性で「充実している」「どちらかという充実している」の合計の割合が男性よりも8ポイント程度高く、62.1%となっている。

年代別では、10歳代で「充実している」「どちらかという充実している」の合計の割合が最も高く、75.5%となっている。その後年代が上がるにつれて、その割合が徐々に減少していき70歳以上では54.4%となっており、20ポイント以上の差がある。



前回と比較すると、「充実している」「どちらかという充実している」の合計の割合がやや増加して、58.6%となっている。



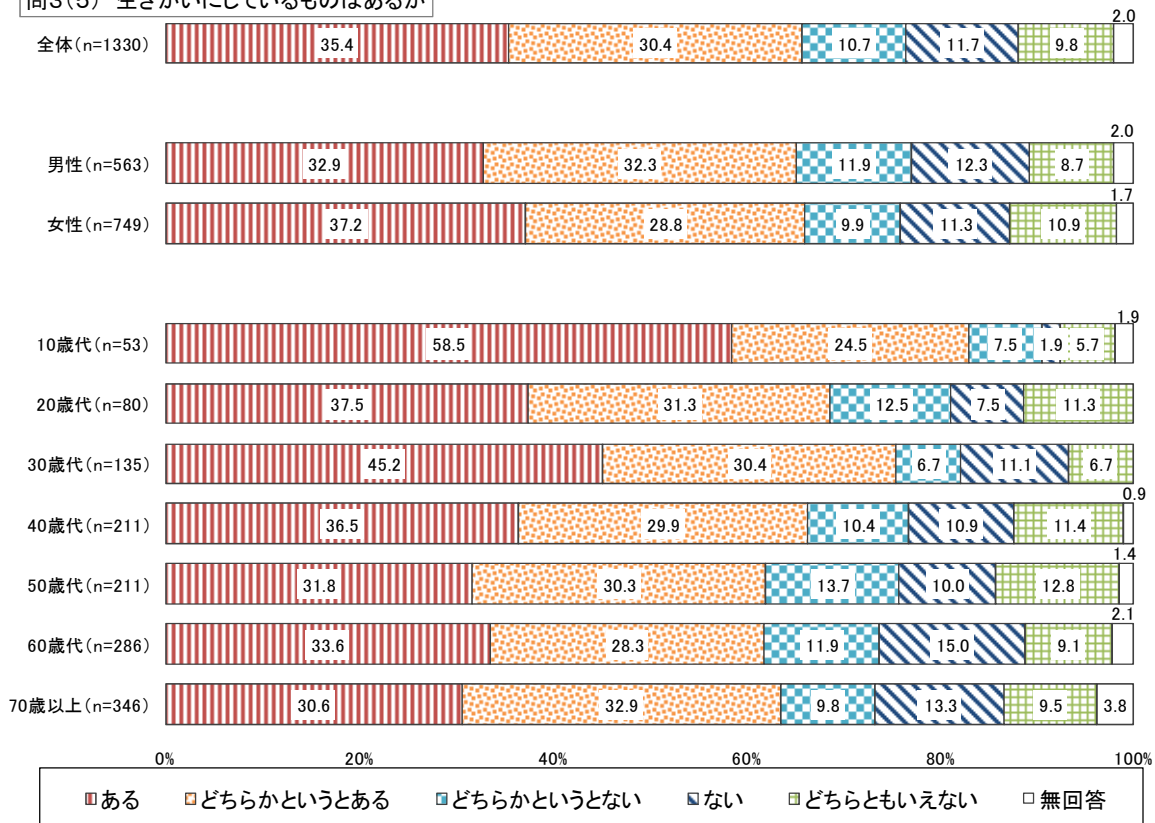
(5) 生きがいにしているものはありますか。(〇は1つだけ)

「ある」が35.4%と最も高く、ついで「どちらかというところがある」が30.4%、「ない」が11.7%となっている。

性別にみると、女性の方が男性よりも「ある」の割合が5ポイント程度高く、37.2%となっている。

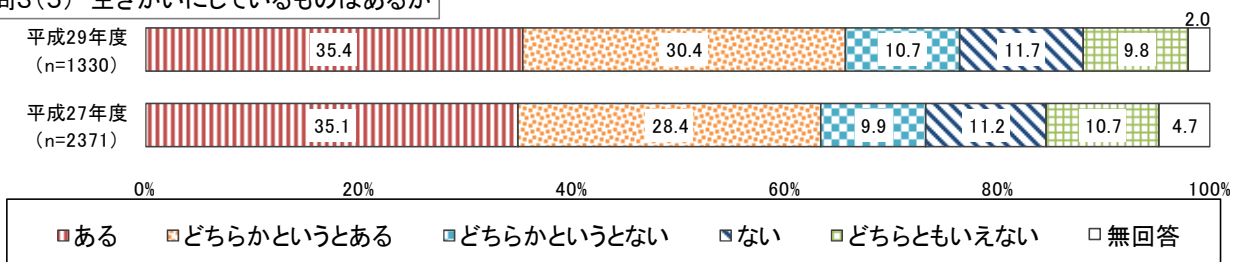
年代別にみると、10歳代で「ある」の割合が最も高く、58.5%となっている。「どちらかというところがある」も含めると83.0%に上る。同様に30歳代でも75.6%と高くなっているが、50歳代以降になると比較的低くなっており、いずれの年代でも6割程度となっている。

問3(5) 生きがいにしているものはあるか



前回と比較すると、「どちらかというところがある」の割合が若干増えているが、そのほかは概ね同様の傾向を示している。

問3(5) 生きがいにしているものはあるか

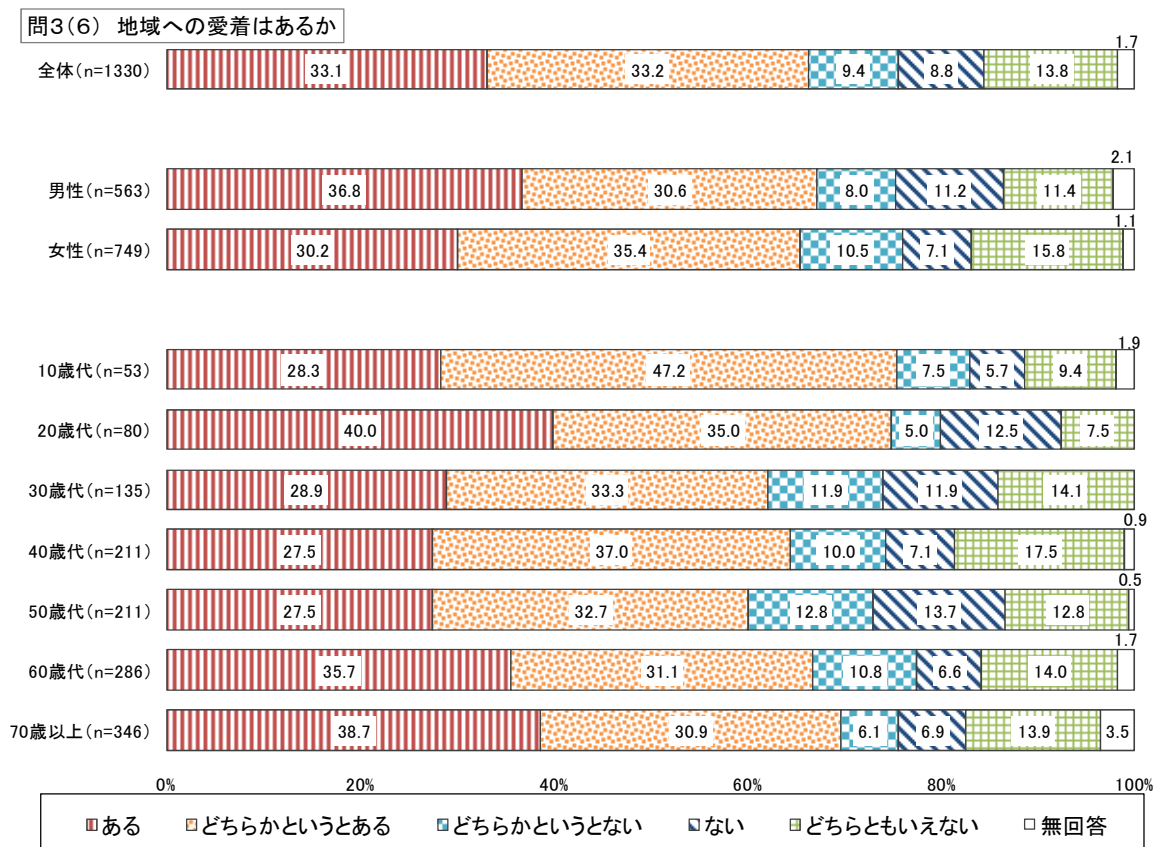


### (6) 地域への愛着はありますか。(〇は1つだけ)

「どちらかというところがある」が33.2%と最も高く、ついで「ある」が33.1%、「どちらともいえない」が13.8%となっている。

性別にみると、「ある」としているのは男性の方が女性よりも5ポイント以上高くなっている。

年代別にみると、20歳代で「ある」の割合が最も高く40.0%となっている。「どちらかというところがある」も含めると、10歳代で75.5%と最も高くなっており、地域への愛着を持つ若い世代が高くなっている。





問4 あなたのふだんの暮らしで心がけていることについておうかがいします。

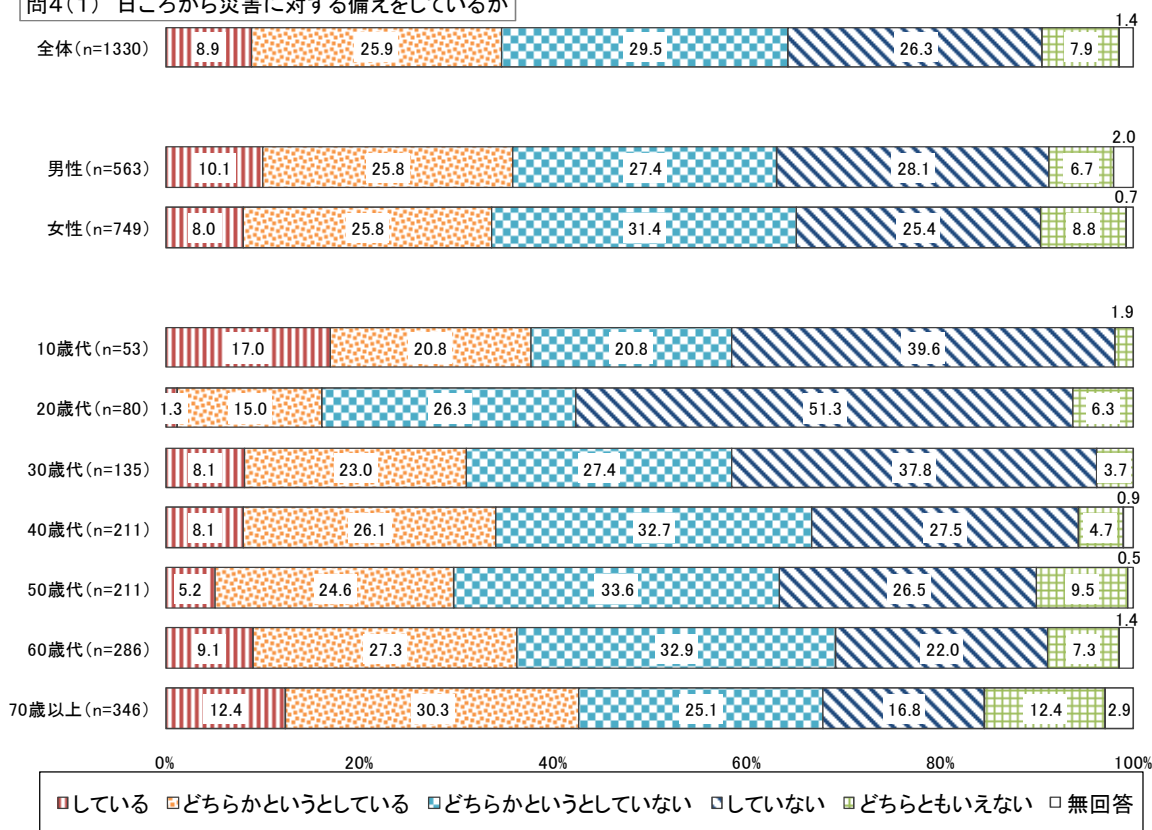
(1) 日ごろから災害に対する備えをしていますか。(〇は1つだけ)

「どちらかというとしていない」が29.5%と最も高く、ついで「していない」が26.3%、「どちらかというとしてしている」が25.9%となっている。

性別にみると、「どちらかというとしていない」で女性の方が男性よりもやや高くなっているが、そのほかは概ね同様の傾向を示している。

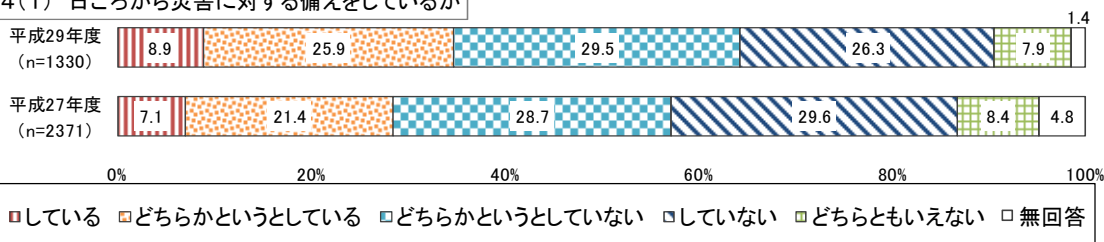
年代別にみると、70歳以上で「している」「どちらかというとしてしている」の割合が高くなっており、42.7%となっている。一方で「どちらかというとしていない」「していない」が高かったのが20歳代で、77.6%となっている。

問4(1) 日ごろから災害に対する備えをしているか



前回と比較すると、「している」「どちらかというとしてしている」の割合が5ポイント以上増加しており、34.8%となっている。

問4(1) 日ごろから災害に対する備えをしているか





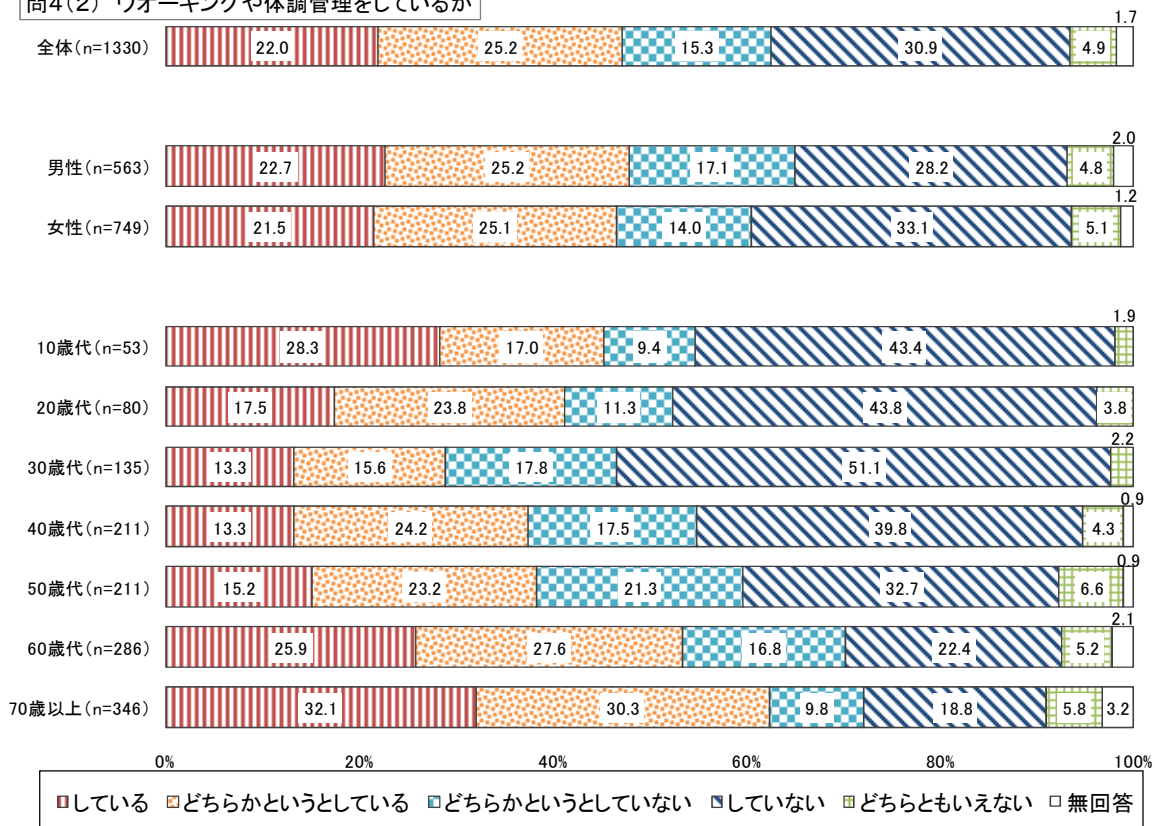
(2) 健康づくりのために、ウォーキングや体調管理をしていますか。(〇は1つだけ)

「していない」が30.9%と最も高く、ついで「どちらかというとしている」が25.2%、「している」が22.0%となっている。

性別にみると、女性では「していない」が33.1%となっており、男性よりも5ポイント程度高くなっている。

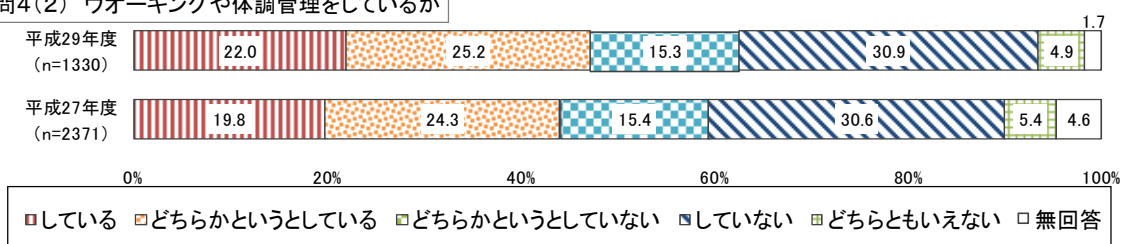
年代別にみると、「している」「どちらかというとしている」の合計の割合が、10歳代で45.3%となっている。その後30歳代まで減少しているが、40歳代以降再び増加しており、70歳以上では62.4%と年代別で最も高くなっている。

問4(2) ウォーキングや体調管理をしているか



前回と比較すると、「している」「どちらかというとしている」の合計の割合が47.2%となっており、やや増加している。

問4(2) ウォーキングや体調管理をしているか

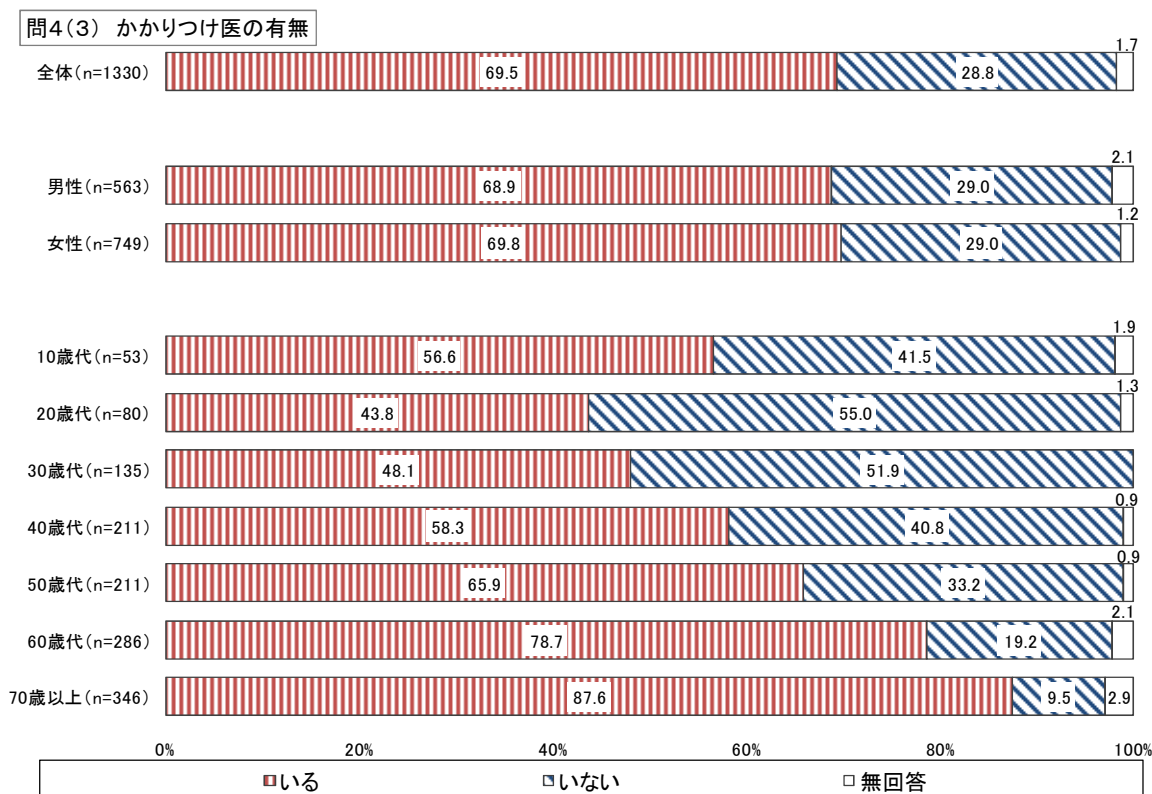


### (3) かかりつけ医がいますか。(〇は1つだけ)

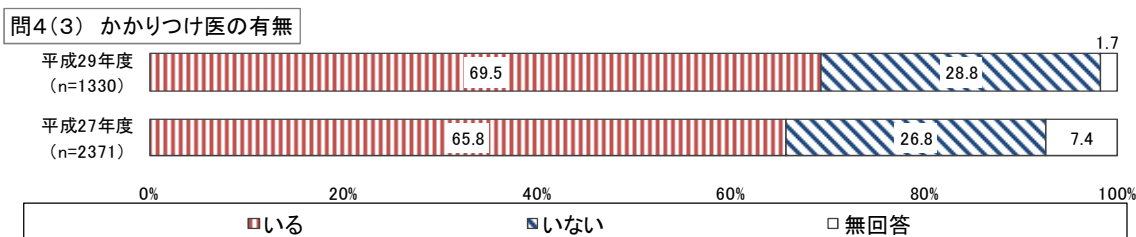
「いる」が69.5%と最も高く、ついで「いない」が28.8%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「いる」が7割程度となっており、大きな違いはみられない。

年代別にみると、10歳代では「いる」が56.6%と半数を超えているものの、20歳代では43.8%で半数を下回っている。20歳代以降は年代が上がるごとに増加していき、70歳以上で87.6%となっている。



前回と比較すると、「いる」がやや増加している。

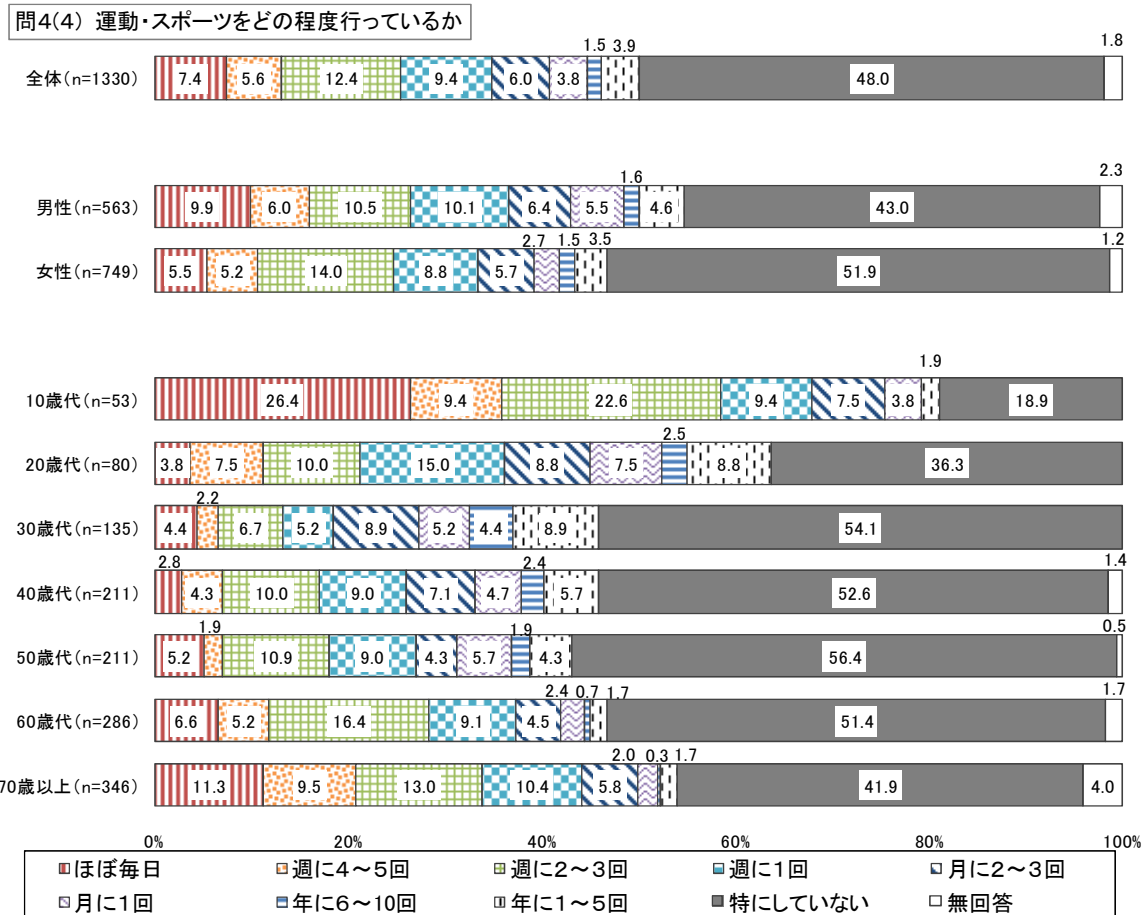


(4) あなたはこの1年間で運動・スポーツをどの程度行っていますか。(○は1つだけ)

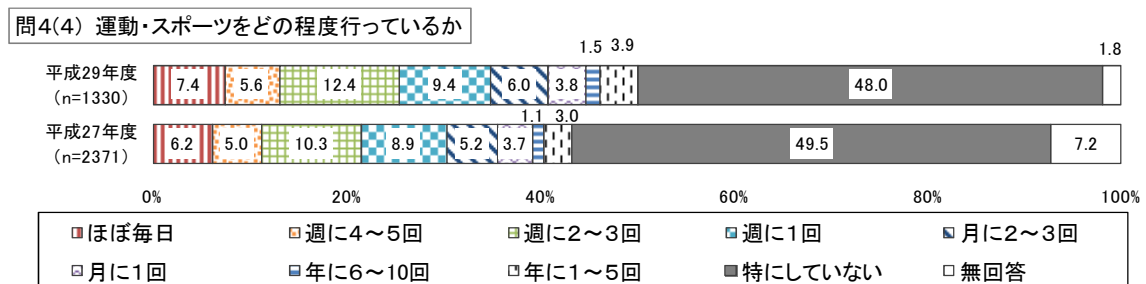
「特にしていない」が48.0%と最も高く、ついで「週に2〜3回」が12.4%、「週に1回」が9.4%となっている。

性別にみると、女性では「特にしていない」が51.9%と半数を超えている。

年代別にみると、30歳代から60歳代までで「特にしていない」の割合が高くなっており、半数を超えている。また、10歳代では「ほぼ毎日」が26.4%と他の世代と比べ非常に高くなっている。



前回と比較すると、「特にしていない」がやや減少し、運動・スポーツを実施している人が全体的に増加している。特に、「週に2〜3回」が12.4%で最も高くなっている。

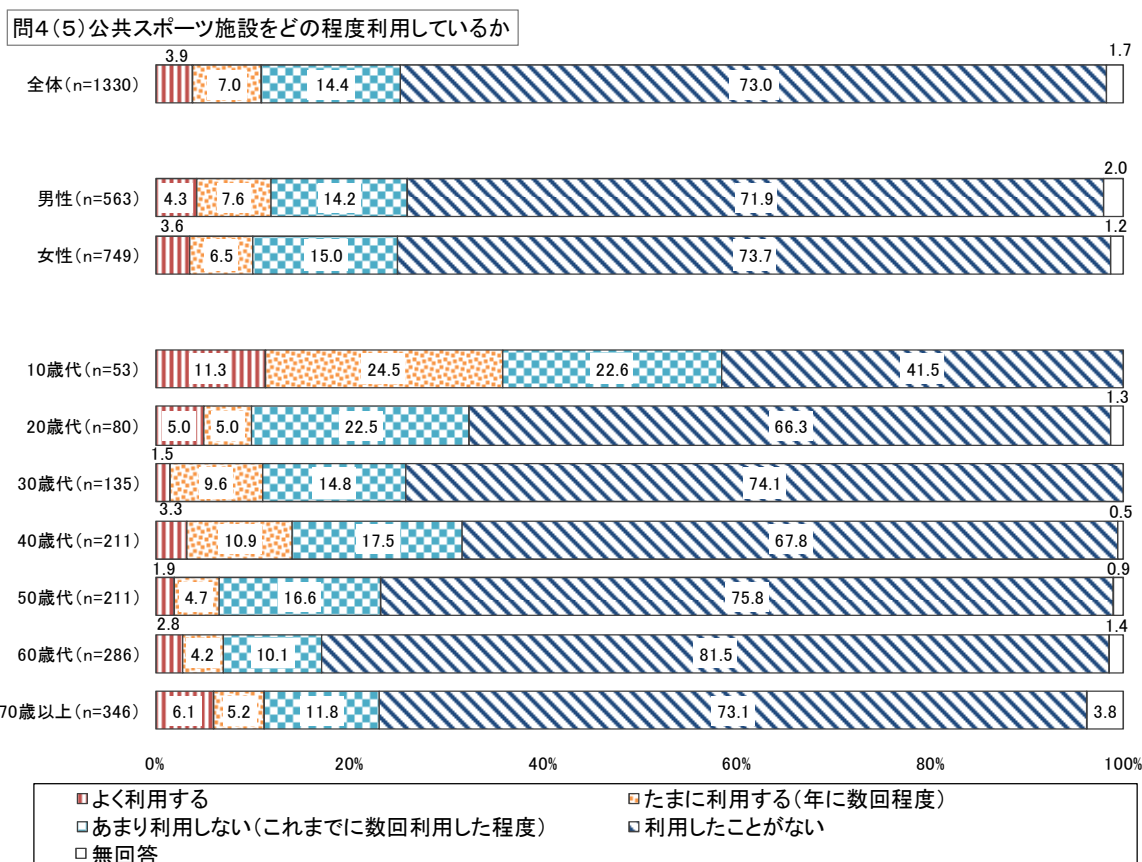


(5) 最近（この2～3年間で）、松阪市の公共スポーツ施設を利用していますか。（〇は1つだけ）

「利用したことがない」が73.0%と最も高く、ついで「あまり利用しない（これまでに数回利用した程度）」が14.4%、「たまに利用する（年に数回程度）」が7.0%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「利用したことがない」が高くなっており、いずれも7割を超えている。

年代別にみると、10歳代で利用したことがある人が高くなっているが、60歳代では「利用したことがない」が81.5%と年代別で最も高くなっている。



問5 あなたの結婚や子育てについてのお考えなどをおうかがいします。

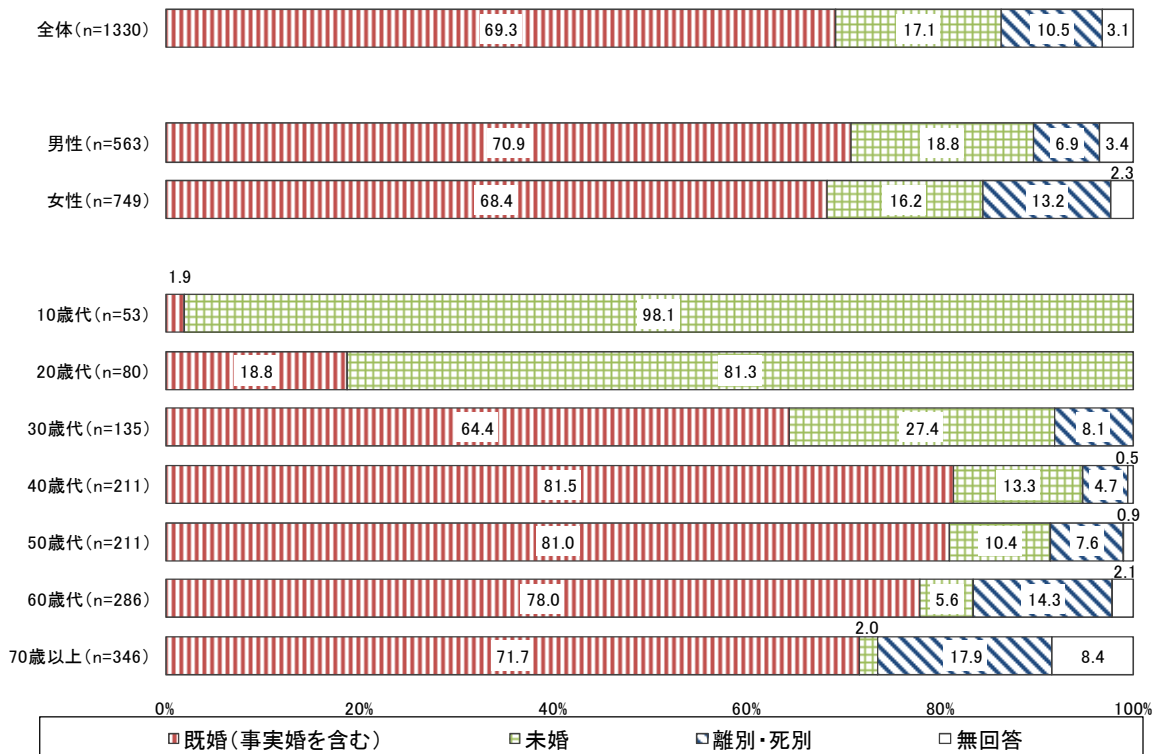
(1) あなたの婚姻状況について (○は1つだけ)

「既婚 (事実婚を含む)」が 69.3%と最も高く、ついで「未婚」が 17.1%、「離別・死別」が 10.5%となっている。

性別にみると、女性では「離別・死別」の割合が高く、男性のおよそ2倍となっている。

年代別にみると、「既婚」の割合が40歳代で最も高く81.5%となっている。20歳代では18.8%が、30歳代で64.4%まで増加している。

問5(1) 婚姻状況

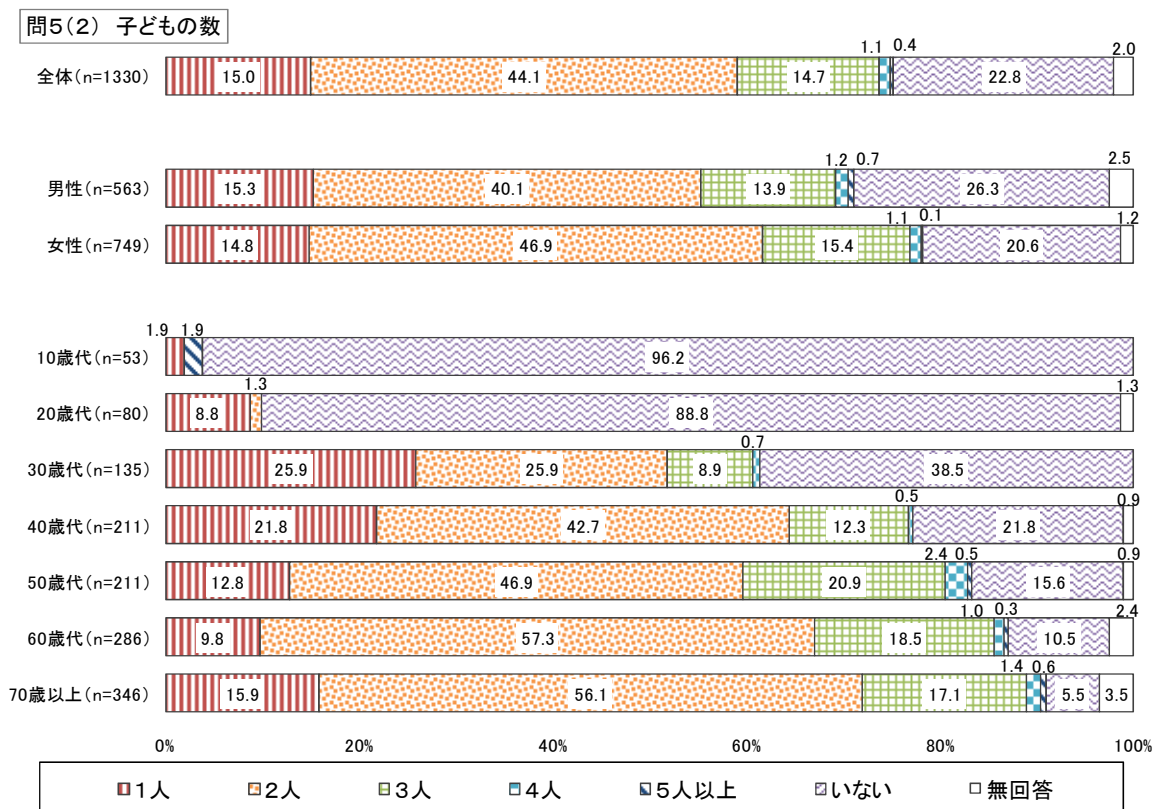


(2) あなたはお子さん（自立しているお子さんも含む）がいらっしゃるでしょうか。（〇は1つだけ）

「2人」が44.1%と最も高く、ついで「いない」が22.8%、「1人」が15.0%となっている。

性別にみると、男性では「いない」が女性よりも5ポイント程度高くなっている。女性では「2人」が46.9%で男性よりも5ポイント以上高くなっている。

年代別にみると、年代が上がるにつれて「いない」が減少している。「いない」の割合が20歳代では88.8%が、30歳代で38.5%まで減少している。

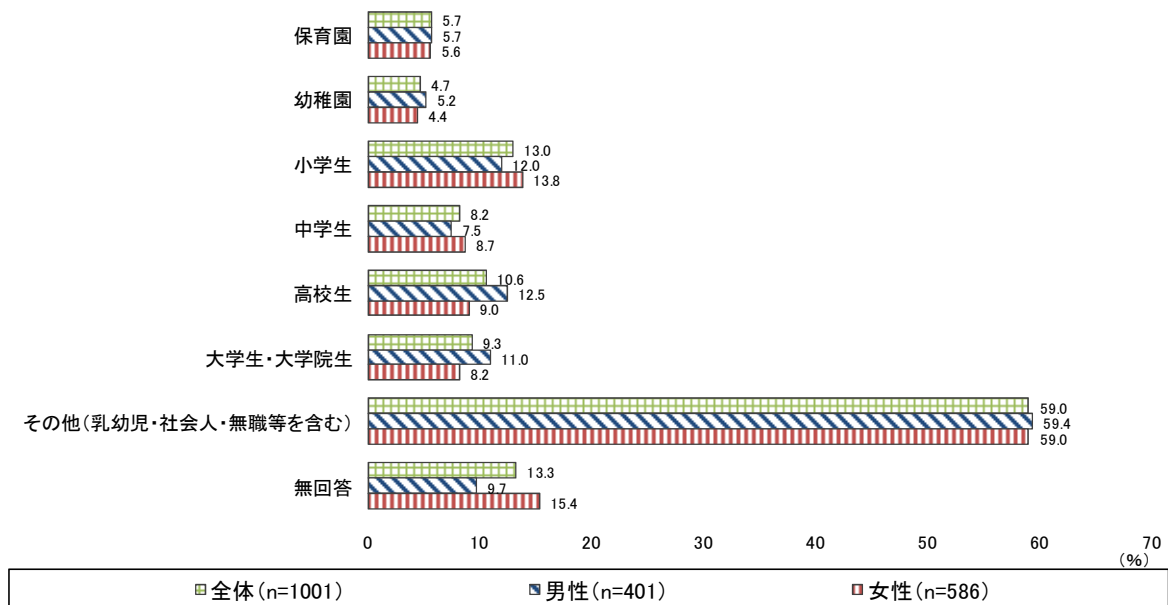




(3) お子さんの就学区分をお答えください。(あてはまるものすべてに○をつけてください。)

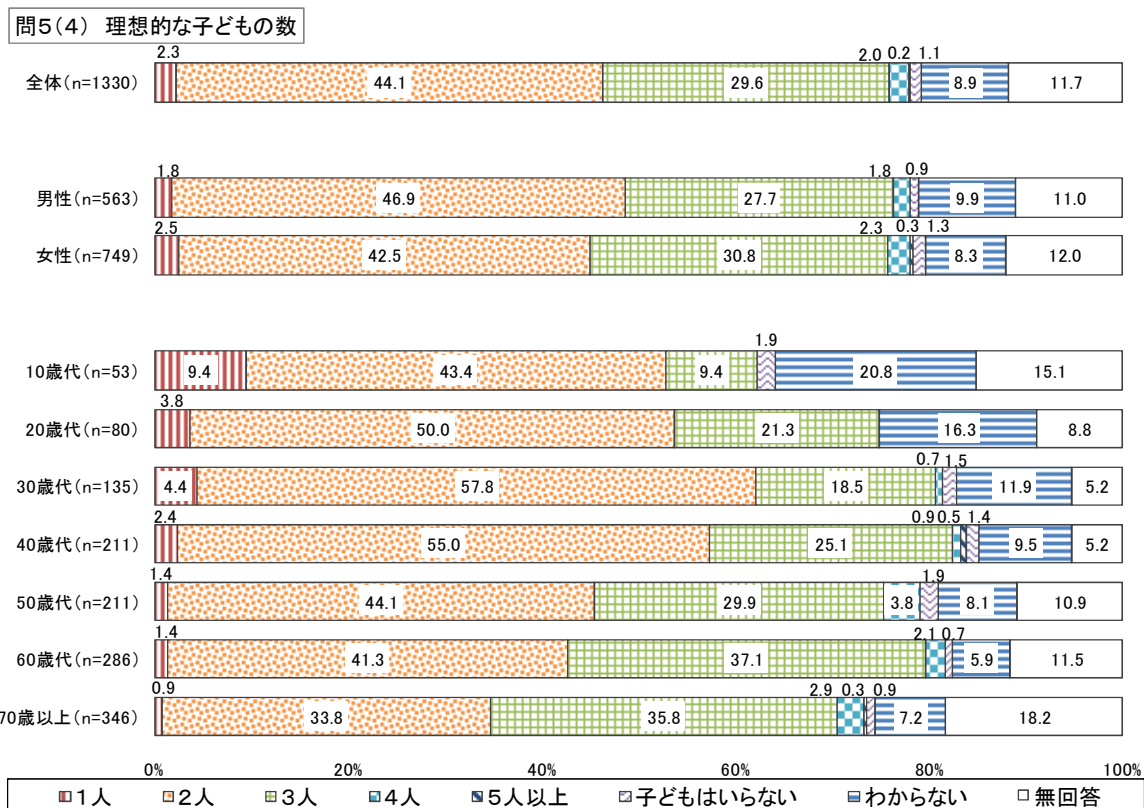
「その他(乳幼児・社会人・無職等を含む)」が59.0%と最も高く、ついで「小学生」が13.0%、「高校生」が10.6%となっている。

問5(3) 子どもの就学区分



(4) あなたにとって、理想的な子どもの数をお答えください。(○は1つだけ)

「2人」が44.1%と最も高く、ついで「3人」が29.6%、「わからない」が8.9%となっている。性別にみると、男性・女性ともに「2人」が最も高くなっており、いずれも4割を超えている。年代別にみると、70歳以上では「3人」が最も高くなっており、それ以外の年代では「2人」が高くなっている。

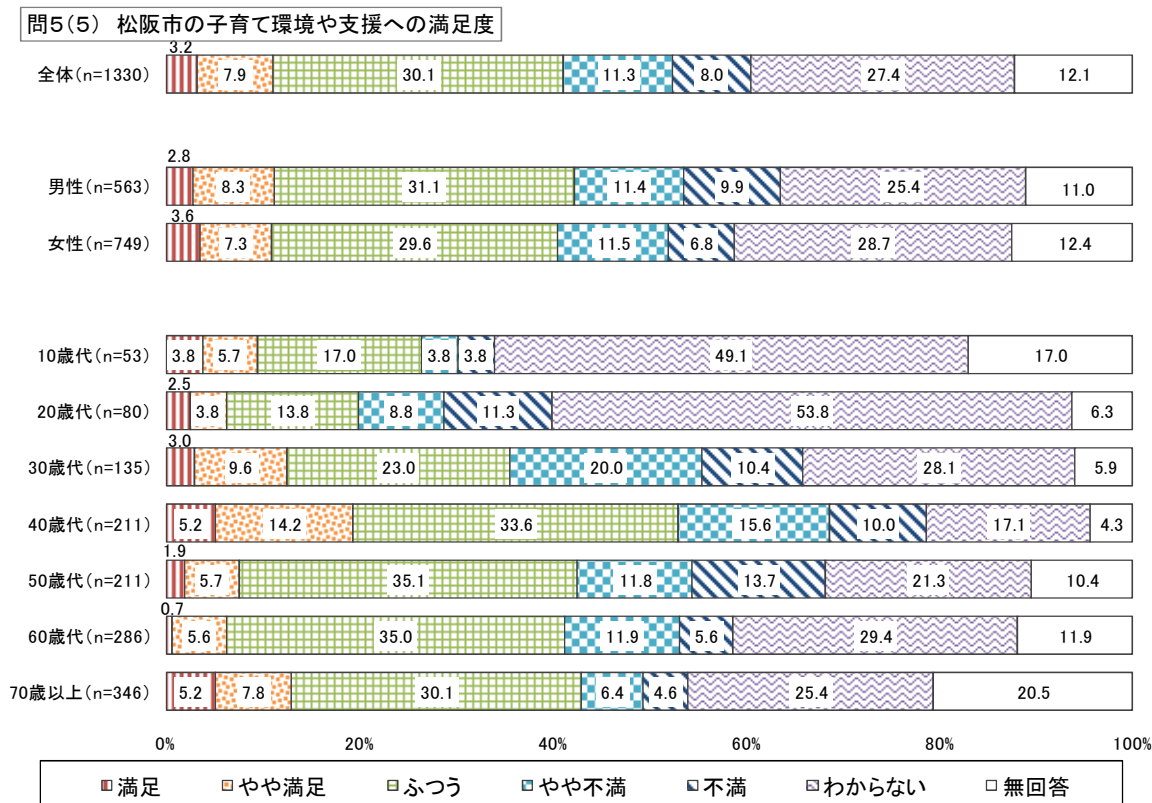


(5) 松阪市における子育ての環境や支援への満足度について、あなたの気持ちに最も近いものを選んでください。(〇は1つだけ)

「ふつう」が30.1%と最も高く、ついで「わからない」が27.4%、「やや不満」が11.3%となっている。

性別にみると、女性では「わからない」が男性よりも高くなっており、28.7%となっている。

年代別にみると、30歳代までの各年代では「わからない」が最も高くなっているが、40歳代以降は「ふつう」が最も高くなっている。



問6 あなたのお住まいの地域づくりについておうかがいします。

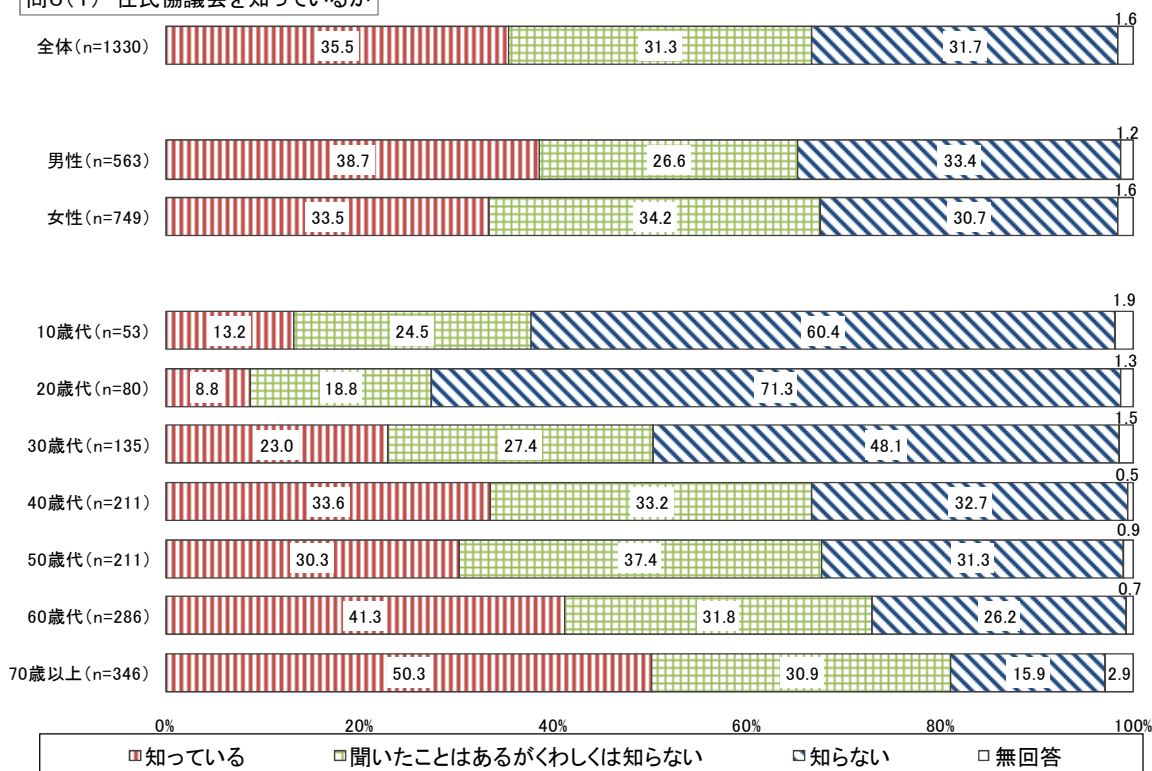
(1) あなたのお住まいの地域の住民協議会(まちづくり協議会)を知っていますか。(〇は1つだけ)

「知っている」が35.5%と最も高く、ついで「知らない」が31.7%、「聞いたことはあるがくわしくは知らない」が31.3%となっている。

性別にみると、男性の方が「知っている」が5ポイント程度高く、38.7%となっている。

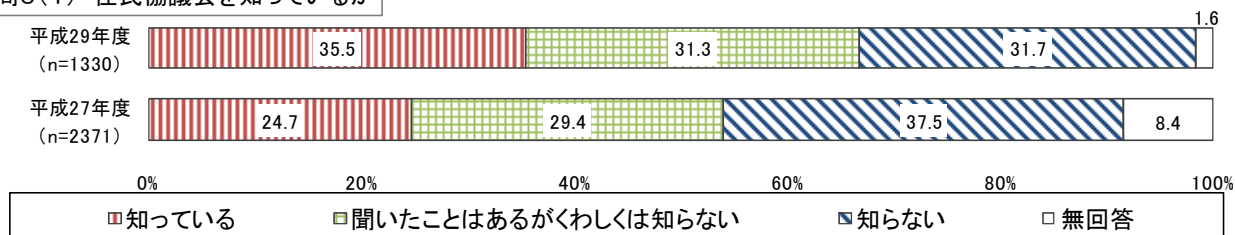
年代別にみると、10歳代から20歳代では「知っている」は1割前後となっているが、年代が上がるごとにその割合が増加する傾向がある。70歳以上では半数以上が「知っている」として

問6(1) 住民協議会を知っているか



前回と比較すると、「知っている」が10ポイント以上増加し、35.5%となっている。また、「聞いたことはあるがくわしくは知らない」も僅かだが、増加している。

問6(1) 住民協議会を知っているか

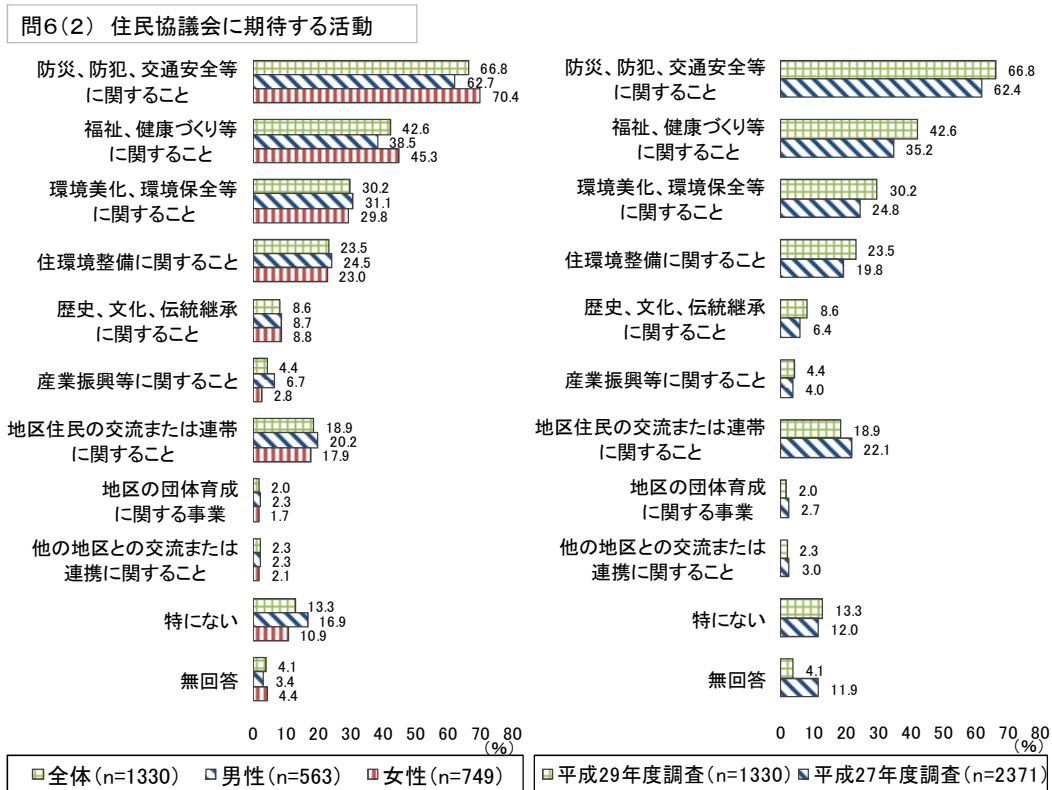


(2) あなたのお住まいの地域の住民協議会（まちづくり協議会）に期待する活動は何ですか。（〇は3つまで）

「防災、防犯、交通安全等に関すること」が66.8%と最も高く、ついで「福祉、健康づくり等に関すること」が42.6%、「環境美化、環境保全等に関すること」が30.2%となっている。

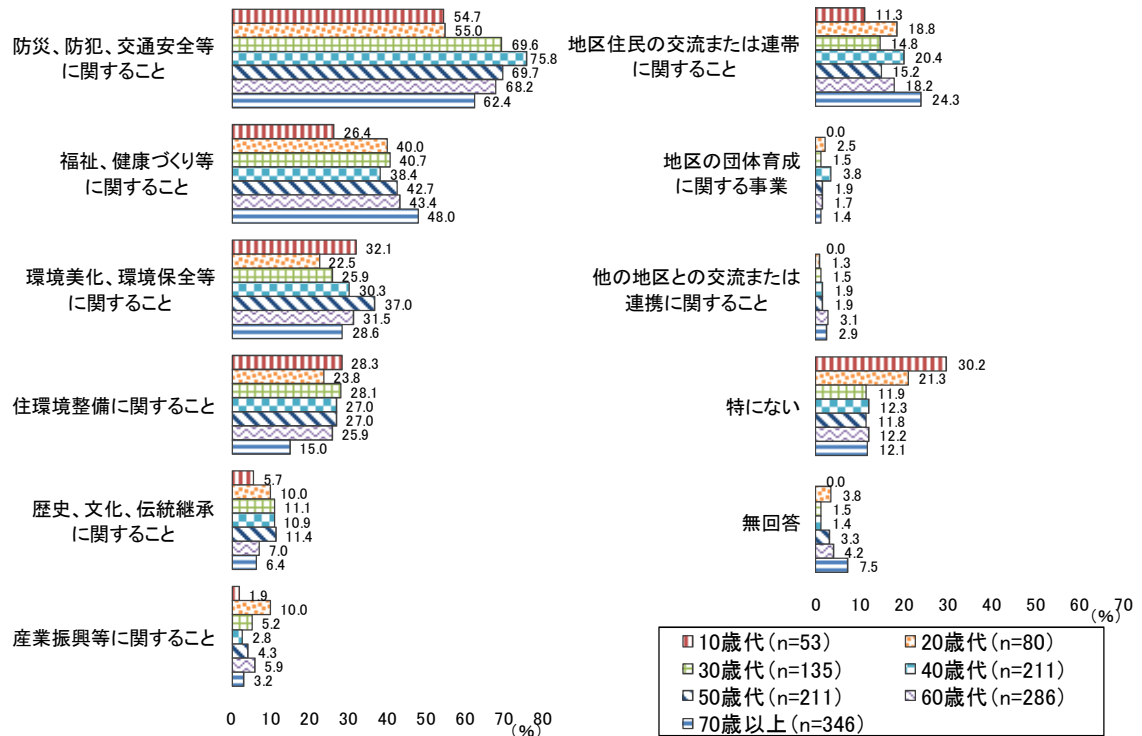
性別にみると、男性・女性ともに「防災、防犯、交通安全等に関すること」への期待が最も高く、他の項目よりも20ポイント以上高くなっている。

前回調査と比較すると、「福祉、健康づくり等に関すること」「環境美化、環境保全等に関すること」「防災、防犯、交通安全等に関すること」等がやや増加している。



年代別にみると、10歳代では「特にない」が他の年代よりも高くなっており、30.2%となっている。また、「福祉、健康づくり等に関すること」でも20歳代以降は概ね4割程度が期待しているのに対し、10歳代では3割に満たない結果となっている。

問6(2) 住民協議会に期待する活動



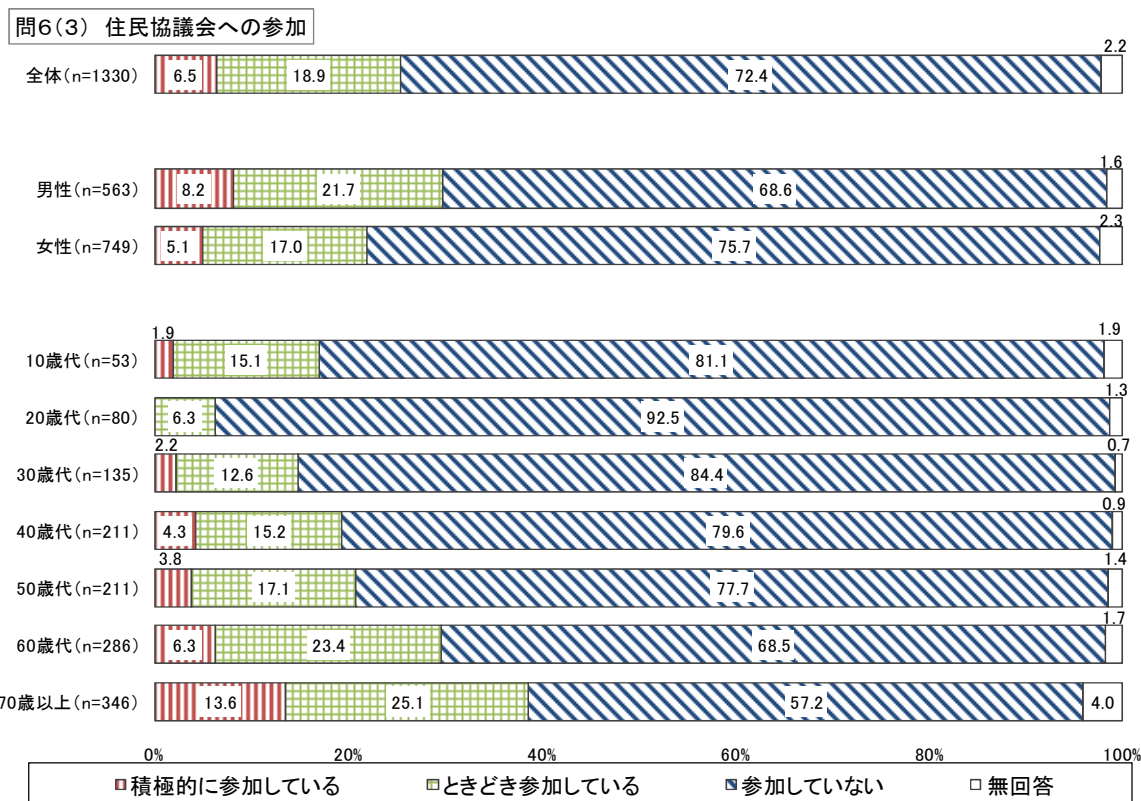


(3) あなたはお住まいの地域の住民協議会（まちづくり協議会）のまちづくり活動に参加していますか。（〇は1つだけ）

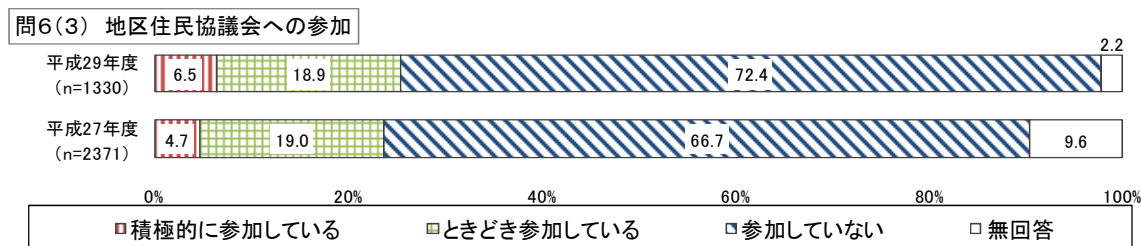
「参加していない」が72.4%と最も高く、ついで「ときどき参加している」が18.9%、「積極的に参加している」が6.5%となっている。

性別にみると、男性は「積極的に参加している」「ときどき参加している」の合計の割合が、29.9%と女性と比べ、8ポイント近く高くなっている。

年代別にみると、10歳代では参加している割合が比較的高くなっているが、20歳代で1割未満に減少している。その後年代が上がるごとに「積極的に参加している」「ときどき参加している」の合計の割合が増加していき、70歳以上で38.7%となっている。



前回と比較すると、「積極的に参加している」「ときどき参加している」の合計の割合が、わずかであるが増加している。



問7 あなたが幸福な生活を送るにあたって望むことについておうかがいします。

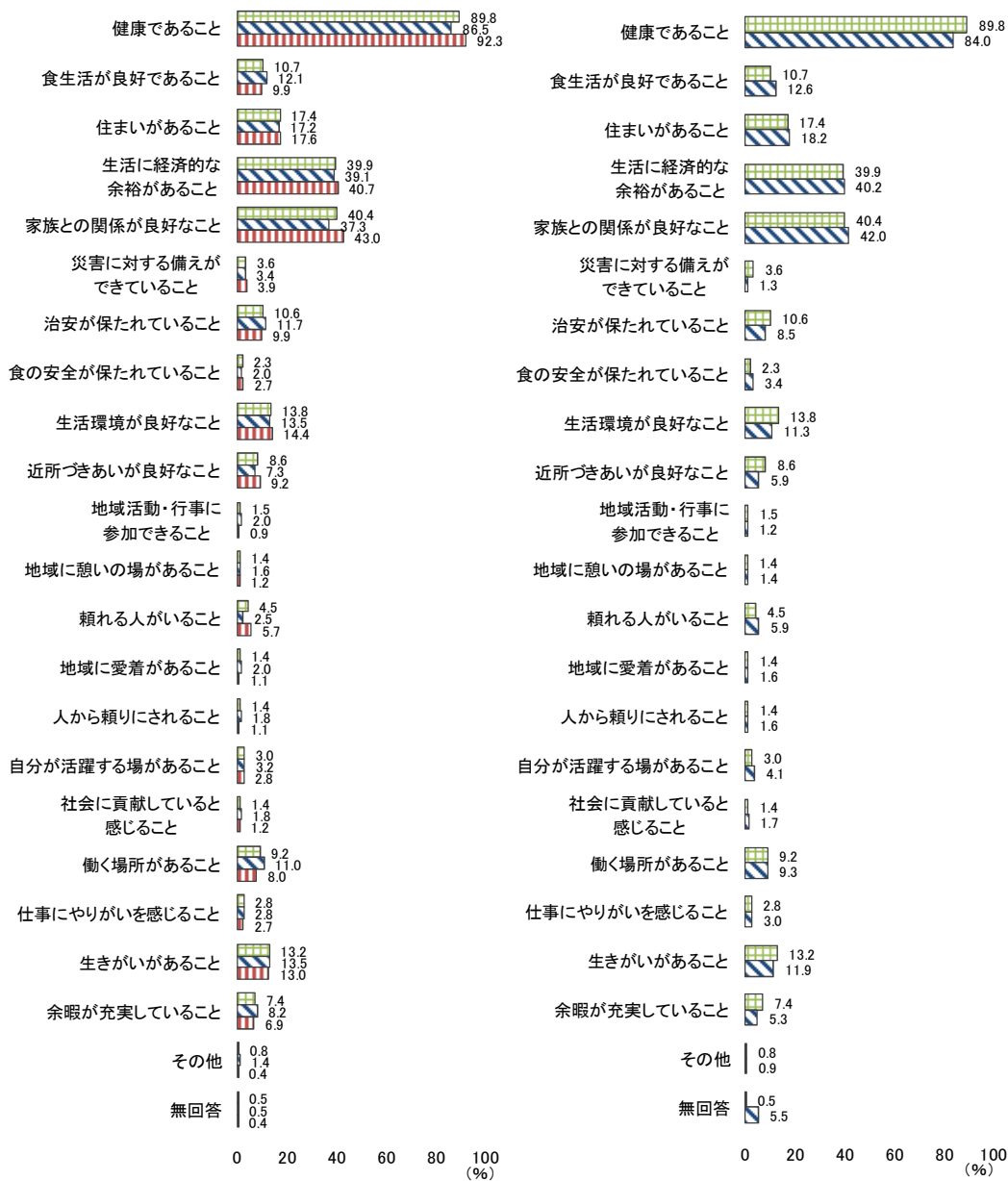
(1) 幸福な生活のために必要なことはどんなことだと思いますか。(〇は3つまで)

「健康であること」が89.8%と最も高く、ついで「家族との関係が良好なこと」が40.4%、「生活に経済的な余裕があること」が39.9%となっている。

性別にみると、「健康であること」「家族との関係が良好なこと」について男性と女性で割合に差がみられるが、そのほかは大きな違いはみられない。

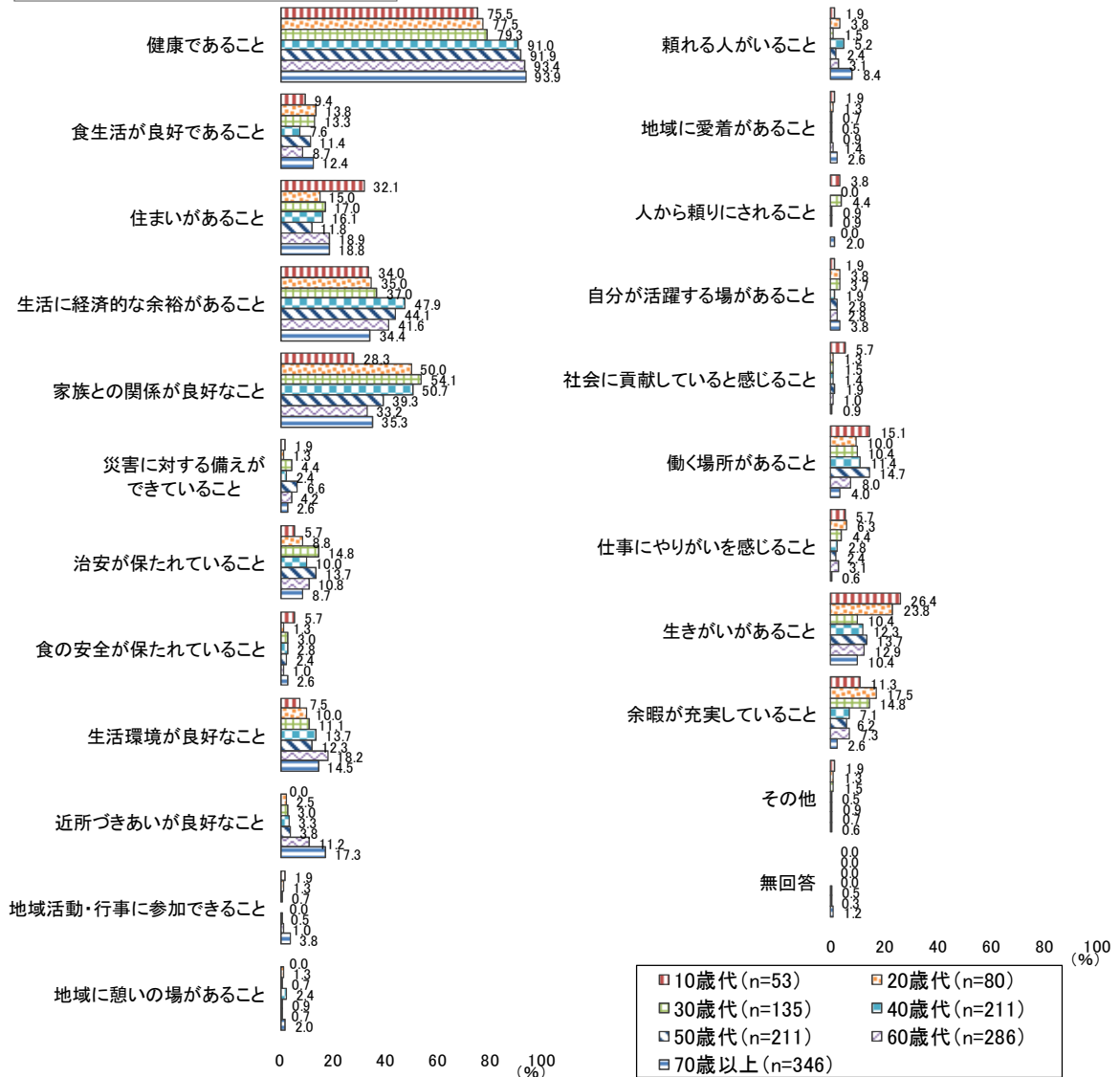
前回調査と比べると、「健康であること」が5ポイント程度高くなっているが、そのほかは大きな違いはみられない。

問7(1) 幸福な生活のために必要なこと



年代別にみると、年代が上がるごとに「健康であること」の割合が増加している。また、20歳代から40歳代では「家族との関係が良好なこと」が他の世代と比べ高くなっている。

問7(1) 幸福な生活のために必要なこと



(2) 幸福な生活を送るためには、松阪市がどのようなまちになるのが良いと思いますか。

(○は3つまで)

「安心して医療を受けることができるまち」が56.0%と最も高く、ついで「犯罪が少ないまち」が34.1%、「安心して子育てができるまち」が32.0%となっている。

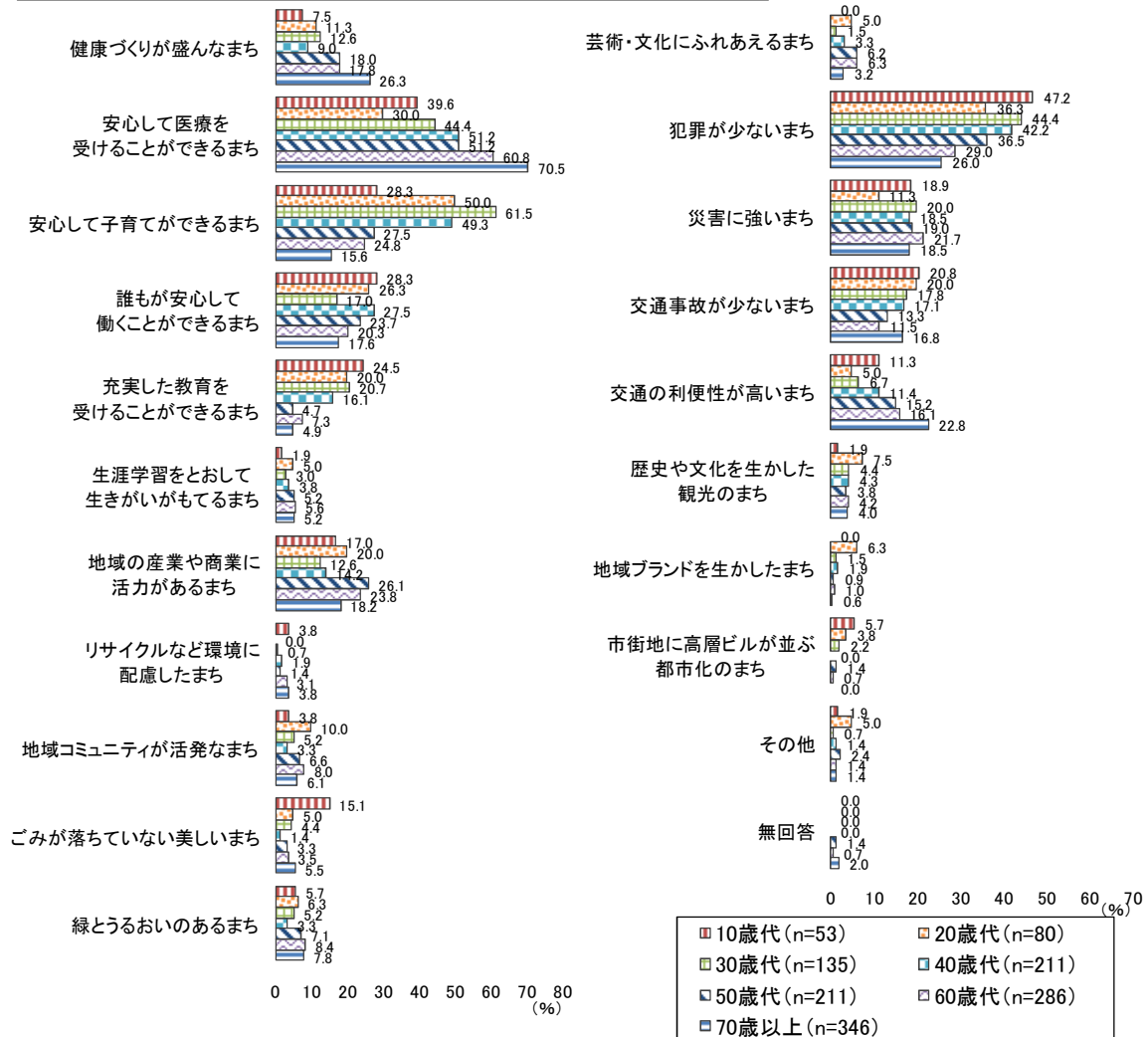
性別にみると、女性では「犯罪が少ないまち」が男性と比べ高くなっている。一方、男性では「健康づくりが盛んなまち」が女性と比べ高くなっている。

前回と比較すると、「安心して医療を受けることができるまち」と「交通の利便性が高いまち」がやや増加しているが、そのほかは概ね前回と同様の傾向を示している。



年代別にみると、「安心して医療を受けることができるまち」が年代が上がるごとに、割合が増加している。また、20歳代から40歳代では「安心して子育てができるまち」が比較的高くなっている。逆に、「犯罪が少ないまち」は年代が下がるごとに割合が減少している。

問7(2) 幸福な生活を送るためには、松阪市がどのようなまちになると良いか

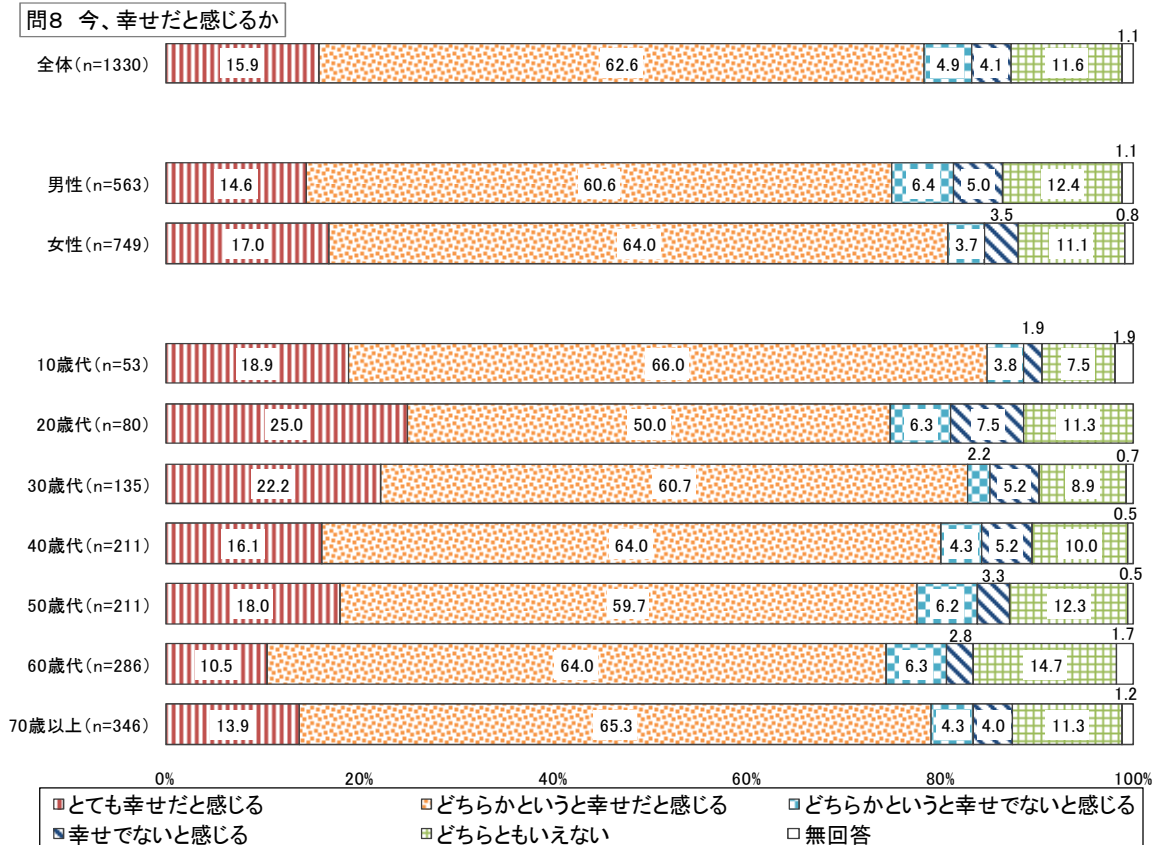


問8 あなたは今、幸せだと感じますか。(〇は1つだけ)

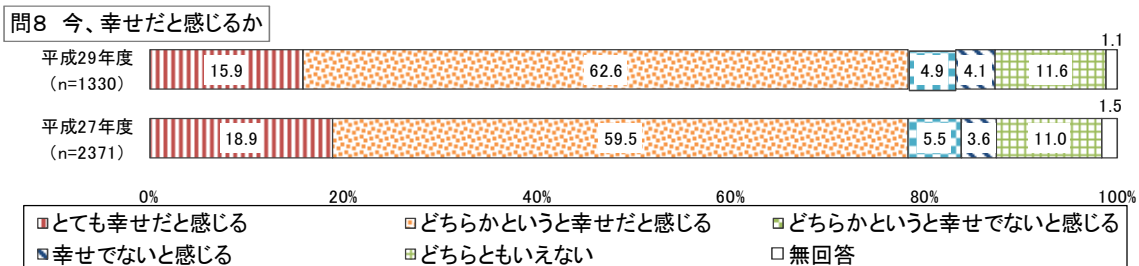
「どちらかという幸せだと感じる」が62.6%と最も高く、ついで「とても幸せだと感じる」が15.9%、「どちらともいえない」が11.6%となっている。

性別にみると、男性よりも女性の方が「とても幸せだと感じる」「どちらかという幸せだと感じる」の合計の割合が高く、81.0%となっている。

年代別にみると、いずれの年代でも「とても幸せだと感じる」「どちらかという幸せだと感じる」の合計の割合が、7割を超えている。



前回と比較すると、「とても幸せだと感じる」がやや減少しているが、「どちらかという幸せだと感じる」も含めた割合をみると、概ね同様の割合となっている。

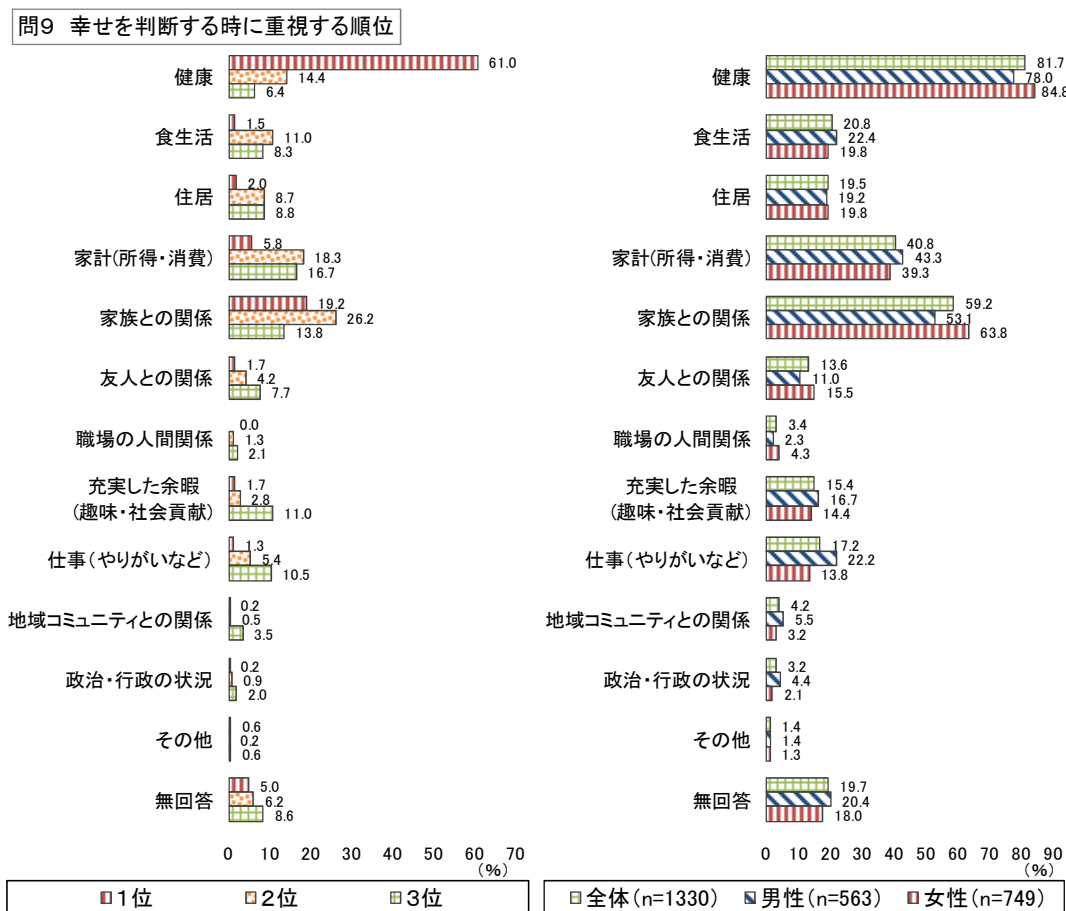




問9 問8の質問で、幸せを判断するときに重視したことは何ですか。（次のうちから重視した順に3つまでお書きください。）

「健康」を1位とする割合が最も高く、61.0%となっている。ついで2位では「家族との関係」が高くなっており、26.2%、3位では「家計（所得・消費）」で16.7%であった。

性別にみると、女性は「家族との関係」の割合で男性よりも10ポイント程度高く、63.8%となっている。一方で、「仕事（やりがいなど）」では男性の方が女性よりも10ポイント近く高く、22.2%であった。





前回調査と比較すると、「家族との関係」が5ポイント以上高い、59.2%となったほか、「健康」や「家計（所得・消費）」でも前回よりやや増加している。

